

(案)

地域別構想

# 第7章 地域別構想

## 1 地域別構想の考え方

### 1) 地域別構想とは

地域別構想は、全体構想に示された都市づくりの方針等を受け、各地域の現状や課題に対応したまちづくり目標を設定し、それを実現するためのまちづくり方針を明らかにするものです。そこで、地域別構想の策定にあたっては、各地域の現況特性や全体構想における位置づけ、市民アンケート結果を踏まえつつ、令和3年度に開催された地区別タウンミーティングで出されたアイデア等を参考としながら、地域のまちづくり目標やまちづくり方針を設定します。

### 2) 地域区分

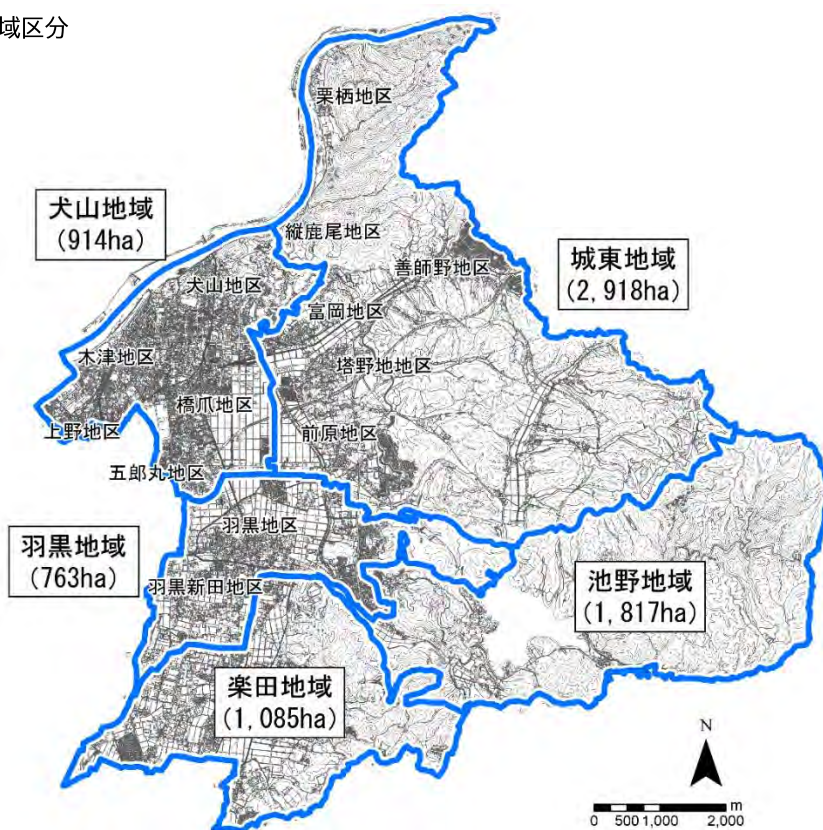
地域別構想における地域区分は、前計画を踏襲して、以下の考え方を踏まえて設定します。

- ①全体構想における拠点の配置や市街地のまとまり、郊外部での集落地や一団の住宅団地の分布状況を勘案して設定
- ②都市（地域）の生い立ち（町村合併等の経緯）や社会的圏域（大字界等）を勘案して設定
- ③地域としての一体性やまとまりが地域住民に理解されやすい地域となるよう配慮して設定

※本市の市街地は、大きく犬山、羽黒、楽田の3つに分かれています。都市拠点及び地区拠点を中心としたこれら各々の市街地が1つの地域となるように、都市の生い立ちや歴史的経緯を勘案し、旧町村に基づく地区区割により、「犬山地域」、「羽黒地域」、「楽田地域」に区分します。

※市街地を含まない主に市東部の区域（大半が市街化調整区域）についても、上記と同様に、都市の生い立ちや歴史的経緯を勘案し、旧町村に基づく地区区割により、2つの地域（「城東地域」、「池野地域」）に区分します。

■図表 地域区分



## 2 各地域のまちづくり構想

### 1) 犬山地域

#### ①犬山地域の現状

##### ●地域の概況

- ・犬山地域は市の北西部に位置し、地域北部には木曾川が流れ、それを挟み各務原市と、地域南西部は丹羽郡扶桑町と隣接しています。
- ・犬山駅に加え、犬山口駅、犬山遊園駅の3つの駅が位置し、犬山駅周辺を中心に都市機能や居住機能が集積しており、また、犬山城とその城下町を抱え、歴史と文化が調和した中心市街地を形成しています。
- ・地域北部では、犬山城のほか、成田山名古屋別院大聖寺、日本モンキーセンター・モンキーパーク等の観光資源を多く有しています。
- ・地域南部には国道41号が東西に整備され、その沿道付近において総合病院や商業施設が集積立地し、生活利便性の高い地域となっています。
- ・高次都市機能の集積立地や県内有数の観光地でもある犬山城下町等を有し、市内で最も利用者数が多い犬山駅が位置する等、他地域からの鉄道やバス等でのアクセス利便性を活かした市の賑わいの中心として、魅力を高めることが期待されます。

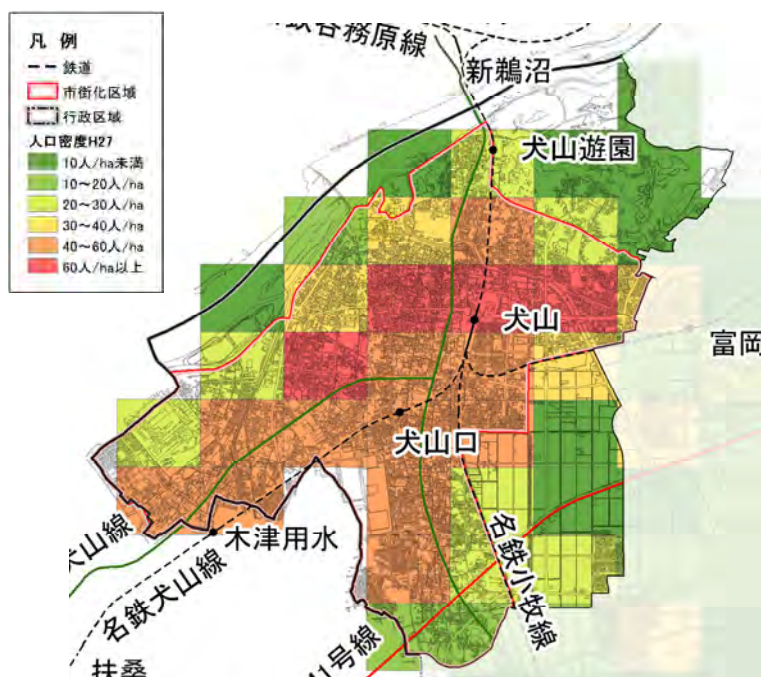
##### ■図表 犬山地域の概況

※現況図や写真を掲載予定

## ●人口

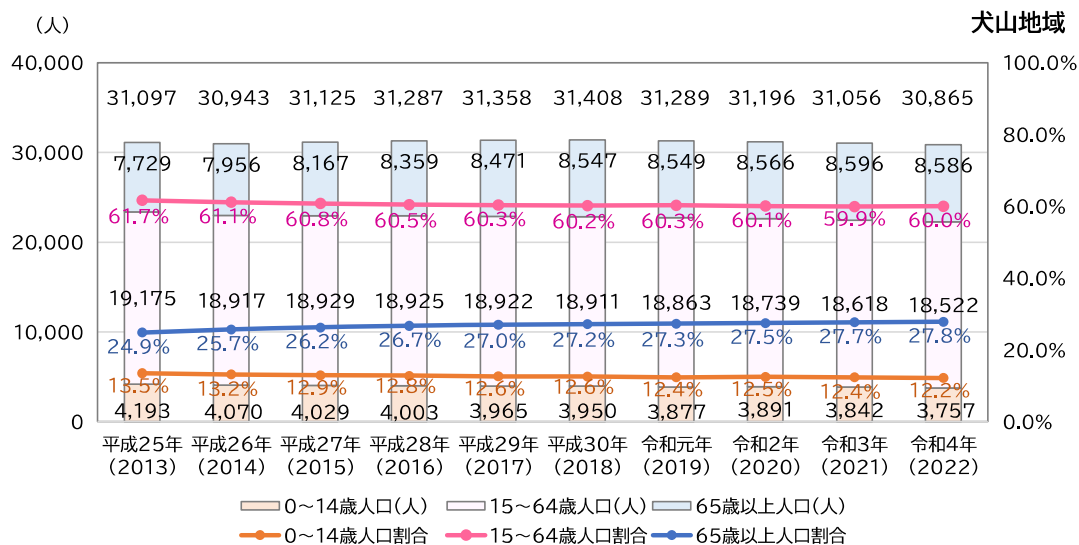
- ・地域内の人口は、令和4年時点で30,865人であり、本市の人口の42.5%を占めています。
- ・人口増減は、平成30年までは増加傾向にありましたが、その後は減少しています。
- ・高齢化率は、令和4年時点で27.8%と市全体の29.4%より低くなっています。
- ・人口密度は、40人/ha以上の密度が確保された市街地が広がり、犬山駅周辺では最も高い傾向にあります。

図 犬山地域の人口密度（平成27年）



(資料：国勢調査)

図 犬山地域の階層別人口の推移



※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

※各年3月31日時点（資料：犬山市資料）

## ●土地利用

- ・市街化区域が本地域の大半を占めており、住宅地としての土地利用が主体となっていますが、地域北部の城下町周辺では、公共施設用地が多くみられます。また、商業地は、犬山駅、犬山口駅及び犬山遊園駅周辺と幹線道路沿道に多く立地しています。
- ・工業地は、地域西部に広く分布し、大規模な工場も見られます。
- ・都市的低未利用地は犬山駅周辺に多くみられ、生産緑地は地域西部、北部及び南部に多くみられます。
- ・市街化調整区域は、地域北東部では森林をはじめ、テーマパークや社寺、公共施設が立地し、地域南東部に農用地が広がっています。
- ・空家等が地域全体に分布しています。

図 犬山地域の土地利用現況（平成 30 年）



(資料：都市計画基礎調査)

図 犬山地域の都市的低未利用地と生産緑地



(資料：都市計画基礎調査)

図 犬山地域の空家等の分布



(資料：犬山市資料)

## ●施設分布状況

- ・犬山駅周辺に日常生活に密接に関連する各種都市機能が多く分布しています。

■図 犬山地域の都市機能分布



### ●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市資料、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

### ●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市資料、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

### ●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市資料)

### ●福祉施設：

介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市資料)

## ●公共交通

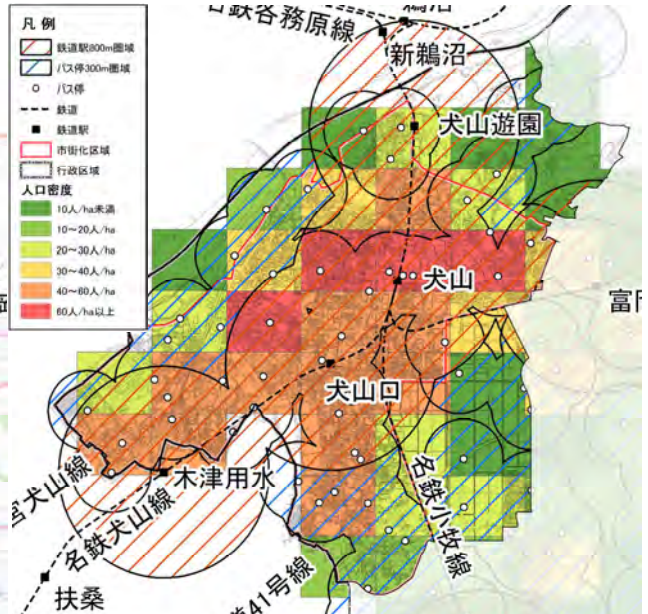
- ・市内鉄道駅は犬山駅、犬山口駅、犬山遊園駅の3駅が設置されています。
- ・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、犬山駅を中心に地域内は概ね鉄道、バスによる公共交通の徒歩圏域でカバーされています。

■図 犬山地域の鉄道駅・バスルート



(資料：国土数値情報)

■図 犬山地域の鉄道駅とバスの圏域



(資料：国土数値情報)

## ●都市基盤（道路、公園緑地等）

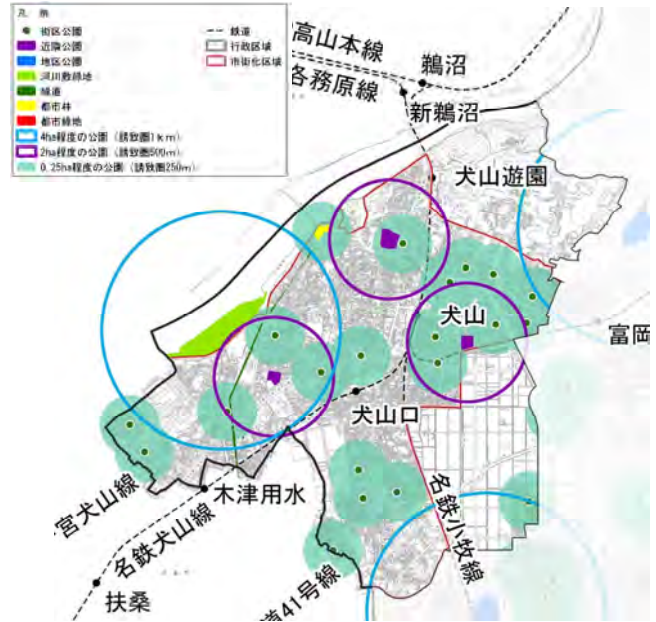
- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く見られますが、そのほとんどが現道の拡幅となります。
- ・都市公園の整備状況は、地域内のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域の一部で誘致圏外が見られます。

■図 犬山地域の道路整備状況



(資料：犬山市資料)

■図 犬山地域の公園整備状況



(資料：犬山市資料)

## ●災害リスク

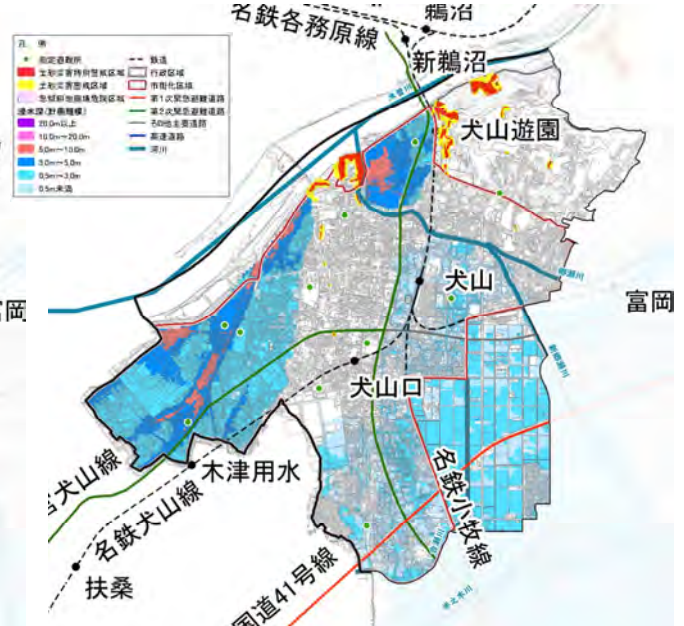
- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域北部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、想定最大規模では、木曾川に近い一部地域で5.0～10.0mの浸水が想定され、地域東部でも広範囲の浸水が想定されています。

■図 犬山地域のハザードマップ（計画規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

■図 犬山地域のハザードマップ（最大想定規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

## ②犬山地域の住民ニーズ

### ●市民アンケート

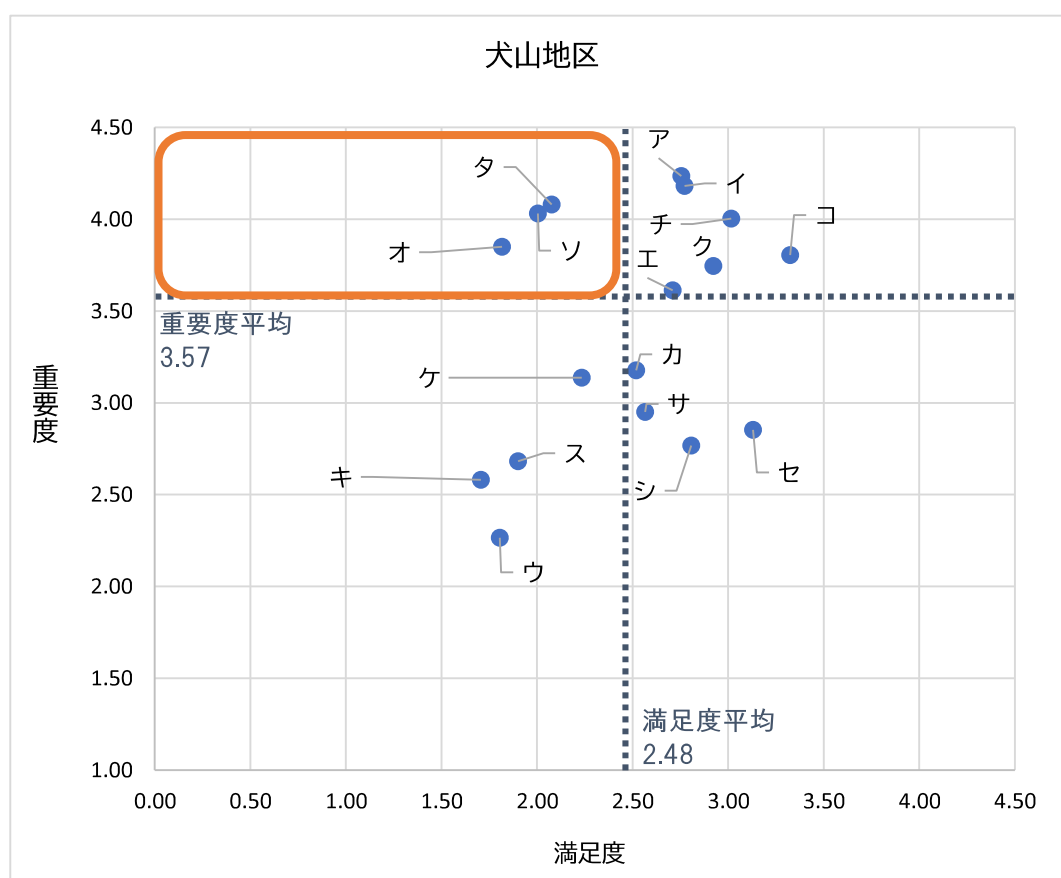
・犬山地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の3つがあげられます。

オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている

タ：自然災害への対策が十分されている

▼日常の生活環境について（満足度×重要度）犬山地区



(令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより)

ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある  
 イ 病院など医療・福祉施設が身近にある  
 ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある  
 エ 道路が整備され、車で移動しやすい  
 オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい  
 カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある  
 キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある  
 ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい  
 ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

コ 下水道など衛生環境がよく整備されている  
 サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある  
 シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある  
 ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある  
 セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある  
 ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている  
 タ 自然災害への対策が十分されている  
 チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ



## ●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見をいただきました。

## 犬山地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

### 犬山地域

- ・にぎやかで人が集まるまち
- ・地元商店が生き活きと商売を続けているまち
- ・空き家が少ないまち
- ・大きいショッピングモールがほしい
- ・道の駅を整備
- ・狭い道路の解消
- ・車がなくても困らないまち
- ・明るい広い歩道をつくる
- ・駅から城下町までに歩行者用道路を確保
- ・バスが使いやすいまち
- ・必要なものが全て買えるまち
- ・木曽川で安全に遊べる地区をつくる
- ・子どもが遊べるまち
- ・お城を中心に歴史的文化遺産を整備
- ・すぐに災害の状況を把握できるようにする
- ・新郷瀬川を安全になるよう整備
- ・城下町の営業時間を延長
- ・地域の商店が集結した城下町にする
- ・古さと新しさ、両方味わえるまち

### 犬山市全体

- ・高齢者と協力できる施設が整うまち
- ・IT技術が活かされているまち
- ・農業生産に支援が充実し、耕作放棄地が少ないまち
- ・工業化せずに、田んぼを保全し、自然環境にやさしいまち
- ・電気100%の自給自足が実現されたまち
- ・防災に強いまち
- ・高齢者が活躍できる元気なまちづくりができています
- ・一日観光した後に、外で夕ご飯を食べる店が多いまち

### 自らできること

- ・みんなで掃除をする
- ・自らの力で商店を活性化する
- ・自らまちづくりに活躍する
- ・高齢者の見守り隊を作ったり、畑活をしたりする
- ・ボランティア活動を通してみんなでつながり、助け合いができるようなシステムを作る
- ・SNSを活用して市を宣伝する
- ・ボランティアを派遣することなどを通して外国人住民を助け、外国人に優しい社会構築に協力する
- ・外食を多くする
- ・老若関係せず積極的にあいさつをする



### ③犬山地域の主要課題

#### ●土地利用の視点

##### <都市拠点にふさわしい都市機能等の集積>

- ・都市拠点に位置づけた犬山駅周辺の中心市街地については、市民生活を支える市役所などの行政サービスや日常生活に必要な店舗、生活サービスなど高次都市機能が立地しており、また、犬山城や城下町など多くの市民や来訪者が訪れる場として、居住環境との調和に配慮しながら魅力と回遊性を高めるまちづくりを進める必要があります。
- ・もう一つの都市拠点に位置づけた橋爪・五郎丸地区については、国道 41 号など広域的な道路交通や総合病院、商業施設が集積する利便性の高い地区であり、これらの利便性を活かした基盤整備等により商業などの都市機能と居住機能の充実を図ることが必要です。

##### <都市拠点周辺における生活利便性の維持・向上>

- ・犬山口駅や犬山遊園駅、木津用水駅に近接する市内地域では、日常生活に必要な都市機能の立地による地域の利便性の維持・充実を図ることが必要です。
- ・犬山遊園駅、木曾川河畔、犬山城と城下町、犬山駅をつなぐ回遊ルートの実現に向けて、内田地区の河川空間において、居住環境との調和に配慮した新たな賑わいの創出が必要です。

##### <幹線道路沿道における商業機能の立地促進>

- ・国道 41 号や主要地方道（春日井各務原線・一宮犬山線）、県道長洞犬山線、市道名古屋犬山線、市道富岡荒井線の広域交通の利便性を活かした日常生活を豊かにする商業施設の立地を促進することが必要です。

##### <都市的土地利用と農業との調整>

- ・橋爪・五郎丸地区に広がるまとまりのある農用地は、都市的土地利用への転換と調整を図りながら、農業の保全を図ることが必要です。

#### ●交通の視点

##### <犬山駅等における交通結節機能の強化>

- ・犬山駅は、本市で最も利用者数が多く、バスや自家用車、自転車等から鉄道に乗り換える交通結節点となっており、通勤・通学をはじめ、城下町への玄関口として、市民・来訪者の移動を支えるとともに、更なる利便性の向上に向けて、犬山口駅や犬山遊園駅との連携を図りながら交通結節機能の強化を図ることが必要です。
- ・犬山駅や総合犬山中央病院を交通結節点とし、地域の生活交通を支えるコミュニティバスや路線バスの維持、充実が必要です。

##### <犬山駅や犬山城下町の周辺における多くの人が利用する歩行空間の形成>

- ・犬山駅や城下町の周辺は市内外から多くの人が訪れるエリアとなっており、地区内の魅力を感じることができるような歩行空間の形成が必要です。

### <安全・安心な生活道路の確保>

- ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安全に、安心して通行できる生活道路の確保が必要です。

## ●市街地整備等の視点

### <既存ストックの有効活用による都市機能と居住機能の集積>

- ・都市機能や居住機能の更なる集積と良好な居住環境の形成に向けて、犬山駅周辺や城下町をはじめ地域内に広く分布している空き家・空き地等の都市的低未利用地の活用を促進するとともに、中心市街地にふさわしい交通アクセスに優れた市街地の形成が必要です。
- ・犬山城下町地区については、城下町が形成された当時の町割りを残す地区のため、歴史的な町並みを維持しながら、住みやすい市街地を形成することが必要です。

### <生活道路など基盤整備による居住環境の改善>

- ・古くから形成されてきた市街地や基盤未整備の市街地においては、狭あい道路の解消や雨水浸水対策などの基盤整備による居住環境の改善と都市的低未利用地の宅地化を促進することが必要です。

## ●都市環境の視点

### <代表的なランドマークである犬山城や木曾川の歴史・自然景観の活用>

- ・犬山城をはじめ城下町の歴史的町並みや名勝木曾川の自然景観を活かし、居住環境に配慮しながら、趣と賑わいが調和した歩きたくなるエリアの形成が必要です。

### <犬山城を中心とした歴史的風致の維持・向上>

- ・犬山城下町地区では、歴史的な建築物や町並みが残されており、こうした歴史的資源の保全とともに、景観を阻害する要因を取り除きながら趣ある町並みを形成し、そこに息づく文化・行事等と一体となった歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。

### <老朽化する公共施設への対応>

- ・老朽化が進行する公共施設については、公共施設再編の方向性と整合しながら、施設の建替えや移転、長寿命化等の対応が必要です。

## ●都市防災の視点

### <災害に強い地域づくりの実現>

- ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じることが必要です。

#### ④犬山地域のまちづくり方針

##### ●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<犬山地域のまちづくり目標>

**都市の魅力を活かした歴史情緒と活気にあふれる、歩いて楽しいまち**

##### ●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

分野	まちづくり方針
拠点形成 土地利用	<p><b>【都市拠点（犬山地区）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○犬山駅周辺における居住機能の集積と多様な都市機能の集積・連携による定住・まちなか居住の促進</li> <li>○中心市街地における空き地や空き店舗の民間活力による利活用を促進</li> <li>○犬山城下町地区における居住環境に配慮したまちの魅力を高める商業、観光交流施設等の立地促進</li> </ul> <p><b>【都市拠点（橋爪・五郎丸地区）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○橋爪・五郎丸地区における新たな都市拠点・交流エリア基本構想を踏まえた交通結節機能の強化・充実のあり方検討</li> <li>○橋爪・五郎丸地区における商業・生活サービス機能の維持・充実</li> </ul> <p><b>【準地区拠点等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○犬山口駅や犬山遊園駅の周辺、木津用水駅に近接する市内地域における身近な商業機能や生活サービス、居住環境の維持・充実</li> <li>○内田地区の木曾川河畔における居住環境に配慮したまちの魅力を高める商業、観光交流施設等の立地促進</li> <li>○犬山遊園駅前におけるサインの配置や木曾川河畔の整備など地域全体を見据えた空間形成の検討</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺環境と調和した沿道商業施設等の立地を許容（商業集積ラインの形成）</li> <li>○新たな住居系市街地の形成（市街化編入）を目指した検討</li> <li>○道の駅（休憩・地域振興施設、子どもの遊び場等）の設置</li> <li>○都市的土地利用との調整による農用地の適切な保全</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（都）国道 41 号五郎丸交差点以北の 6 車線化を促進（国への働きかけ）</li> <li>○名古屋高速小牧北出口以北の地域高規格道路（名濃道路）の事業化を促進（国への働きかけ）</li> <li>○地域内における幹線道路未整備区間の整備                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・【都】犬山五郎丸線（県への働きかけ）</li> </ul> </li> <li>○県道栗栖犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）</li> <li>○県道浅井犬山線における歩行者安全対策の強化（県への働きかけ）</li> </ul>

分野	まちづくり方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県道御嵩犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）</li> <li>○交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施</li> <li>○幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善</li> <li>○国、県、関係市町と連携した遊歩道やサイクリングコース等の利用促進</li> <li>○内田地区の木曾川河畔における居心地が良く歩きたくなるウォークアブルな空間の形成</li> <li>○犬山駅を中心とした交通結節機能の維持、充実による利便性の向上</li> <li>○犬山口駅前における利便性の向上</li> <li>○コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実</li> <li>○観光客に対する公共駐車場の適切な案内・誘導による犬山城下町内への過度な自動車進入の抑制</li> </ul>
市街地整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○犬山城下町における歴史的な町並みと調和した市街地の形成</li> <li>○生活道路の改善など基盤整備を通じた良好な居住環境の形成と都市的低未利用地の宅地化促進</li> <li>○暫定用途を解消した区域における計画的な道路整備や雨水浸水対策による都市的低未利用地の宅地化促進</li> <li>○地区計画区域における路線ごとの道路整備計画の検討と用地取得の推進（橋爪・五郎丸地区計画、丸山地区計画）</li> <li>○県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進</li> <li>○空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進</li> </ul>
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内の河川沿いや緑道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成</li> <li>○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用</li> <li>○国営木曾三川公園木曾川犬山緑地の整備に向けた取組み（国への働きかけ）</li> <li>○都市公園の魅力向上に向けた取組みの推進</li> <li>○橋爪子ども未来園と五郎丸子ども未来園の移転後における公園用地の整備検討</li> <li>○地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進</li> <li>○坂下・上坂地区における下水道整備の推進</li> <li>○個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討</li> <li>○福祉会館跡地の有効活用</li> <li>○新橋爪・五郎丸子ども未来園の整備</li> <li>○犬山南小学校の改築と機能の充実</li> <li>○消防庁舎の建て替え検討</li> <li>○各務原市と連携した良好な木曾川景観の形成</li> <li>○城下町にふさわしい町並み景観の形成（建築物の高さや屋外広告物の規制検討）</li> <li>○国宝犬山城天守を含む近世城郭の天守群による世界文化遺産登録に向けた周辺区域における緩衝地帯（バッファゾーン）のあり方検討</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市基盤整備や既存ストックの防災対策による安全な市街地の形成</li> <li>○歴史的な町並みの保全に配慮した市街地の安全性、防火性の向上</li> <li>○洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化</li> <li>○急傾斜地崩壊対策（西古券）の促進（県への働きかけ）</li> </ul>

# ●犬山地域のまちづくり方針図

**【都市拠点（犬山地区）】の形成**

- 犬山駅周辺における居住機能の集積と多様な都市機能の集積・連携による定住・まちなか居住の促進
- 中心市街地における空き地や空き店舗の民間活力による利活用を促進
- 居住環境に配慮したまちの魅力を高める商業、観光交流施設等の立地促進
- 犬山駅を中心とした交通結節機能の維持、充実による利便性の向上

○居心地が良く歩きたくなるウォーカブルな空間の形成

○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用

○各務原市と連携した良好な木曾川景観の形成

**【準地区拠点（犬山遊園駅周辺）】の形成**

- 身近な商業機能や生活サービス、居住環境の維持・充実
- 居住環境に配慮したまちの魅力を高める商業、観光交流施設等の立地促進
- 犬山遊園駅におけるサインの配置や木曾川河畔の整備など地域全体を見据えた空間形成の検討

○県道栗栖犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）

○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用

○地区計画区域における路線ごとの道路整備計画の検討と用地取得の推進（丸山地区計画）

○地域内における幹線道路未整備区間の整備・【都】犬山五郎丸線（県への働きかけ）

○県道御高犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）

○県道浅井犬山線における歩行者安全対策の強化（県への働きかけ）

○新橋爪・五郎丸子ども未来園の整備

○周辺環境と調和した沿道商業施設等の立地を許容（商業集積ラインの形成）

○新たな住居系市街地の形成（市街化編入）を目指した検討

○都市的土地利用との調整による農用地の適切な保全

○道の駅（休憩・地域振興施設、子どもの遊び場等）の設置

**【都市拠点（橋爪・五郎丸地区）】**

- 橋爪・五郎丸地区における新たな都市拠点・交流エリア基本構想を踏まえた交通結節機能の強化・充実のあり方検討
- 橋爪・五郎丸地区における商業・生活サービス機能の維持・充実
- 消防庁舎の建て替え検討

○周辺環境と調和した沿道商業施設等の立地を許容（商業集積ラインの形成）

**【準地区拠点・市外駅近エリア】**

- 身近な商業機能や生活サービス、居住環境の維持・充実
- 犬山駅周辺における利便性の向上

○暫定用途を解消した区域における計画的な道路整備や雨水浸水対策による都市的低未利用の宅地化促進

○地区計画区域における路線ごとの道路整備計画の検討と用地取得の推進

○橋爪子ども未来園と五郎丸子ども未来園の移転後における公園用地の整備検討

○（都）国道 41 号五郎丸交差点以北の 6 車線化を促進（国への働きかけ）

○名古屋高速小牧北出口以北における地域高規格道路（名濃道路）の事業化を促進（国への働きかけ）

○急傾斜地崩壊対策（西古券）の促進（県への働きかけ）

○観光客に対する公共駐車場の適切な案内・誘導による犬山城下町内への過度な自動車進入の抑制

○歴史的な町並みと調和した市街地の形成

○福祉会館跡地の有効活用

○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用

○城下町にふさわしい町並み景観の形成（建築物の高さや屋外広告物の規制検討）

○国宝犬山城天守を含む近世城郭の天守群による世界文化遺産登録に向けた周辺区域における緩衝地帯（バッファゾーン）のあり方検討

○歴史的な町並みの保全に配慮した市街地の安全性、防火性の向上

○坂下・上坂地区における下水道整備の推進

○国、県、関係市町と連携した遊歩道やサイクリングコース等の利用促進

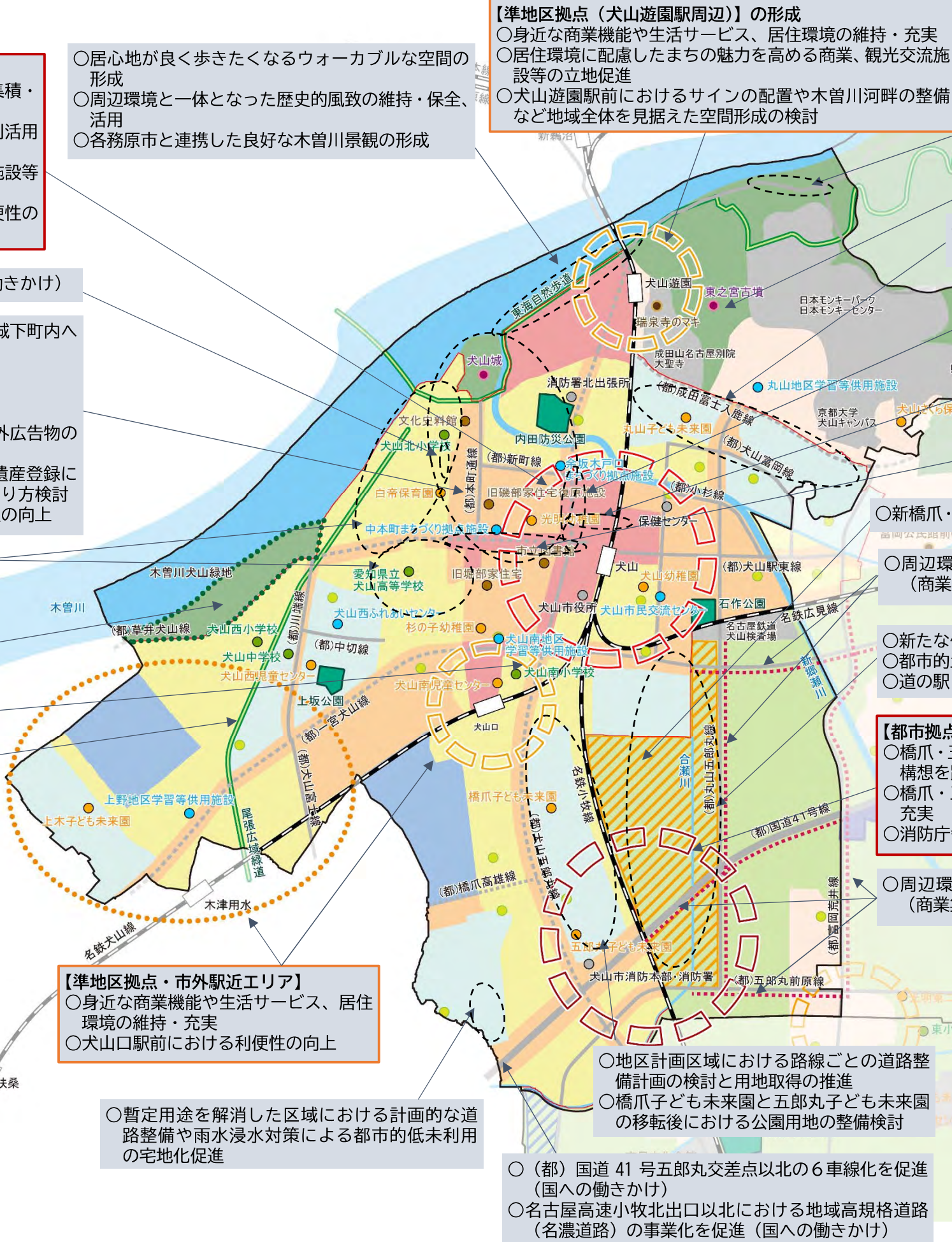
○国営木曾三川公園木曾川犬山緑地の整備に向けた取組み（国への働きかけ）

○犬山南小学校の改築と機能の充実

○地域内の河川沿いや緑道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成

**【地域全体】**

- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施
- 幅員 4 メートル未満の狭い道路の解消など生活道路の改善
- コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実
- 生活道路の改善など基盤整備を通じた良好な居住環境の形成と都市的低未利用地の宅地化促進
- 県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進
- 空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進
- 都市公園の魅力向上に向けた取組みの推進
- 地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進
- 個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討
- 都市基盤整備や既存ストックの防災対策による安全な市街地の形成
- 洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化



専用住宅地	都市拠点（犬山地区）	行政施設
一般住宅地	都市拠点（橋爪・五郎丸地区）	福祉施設
複合住宅地	地区拠点	教育施設
商業業務地	準地区拠点	文化施設
工業地	コミュニティ拠点	子育て支援施設
施設用地	商業集積ライン	集会所
集落地等	地区公園	代表的な歴史資産
農地等	近隣公園	景観重要樹木
森林等	街区公園	
新市街地検討エリア	緑道、遊歩道	
産業用地	主要河川軸	
産業集積誘導エリア		
地域界		
市街化区域		
都市計画道路等		
鉄道・駅		

## 2) 城東地域

### ①城東地域の現状

#### ●地域の概況

- ・城東地域は市の北東部に位置し、地域北部は木曾川が流れ、それを挟み各務原市、加茂郡坂祝町と、地域東側は可児市と隣接しています。
- ・富岡前駅と善師野駅の2つの駅が位置し、それらの周辺を含め地域に広く集落地や住宅団地が分布しており、東部や北部の中山間部では日本の原風景ともいえる栗栖・今井地区の集落地があります。
- ・地域北部や東部には、丘陵地に広がる森林や里山、水辺空間など豊かな自然環境が有し、アウトドアや環境学習などの場として親しまれています。
- ・地域中央には国道41号や尾張パークウェイによる広域的な道路交通網を有しており、国道41号沿いの一部では産業集積が進むエリアがあります。
- ・地域内には多くの観光客が訪れる寂光院、桃太郎神社をはじめ、野外民族博物館リトルワールドなど観光資源も多く立地しています。
- ・広域的な道路交通網や地域資源を活かした観光・レクリエーションのほか、自然環境や農にふれあう場や田園居住といった新たな住まい方の提供など市のポテンシャルを高めることが期待されます。

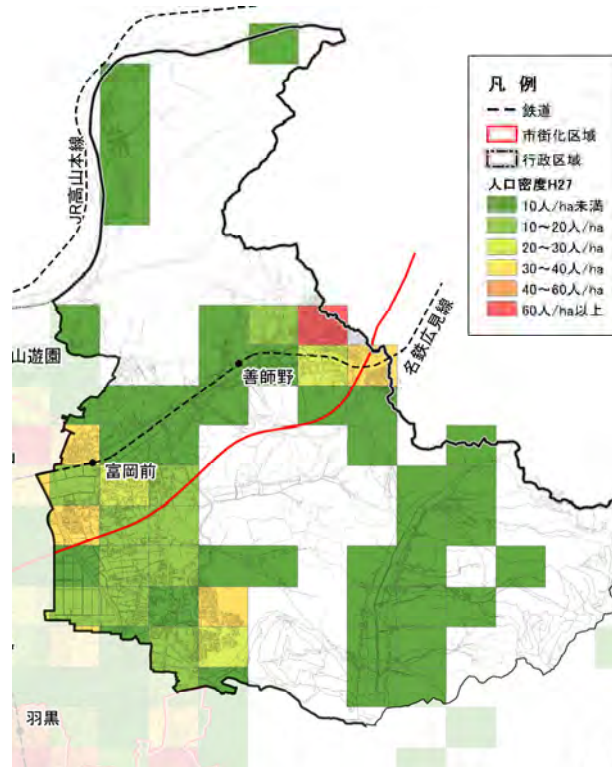
#### ■図表 城東地域の概況

※現況図や写真を掲載予定

## ●人口

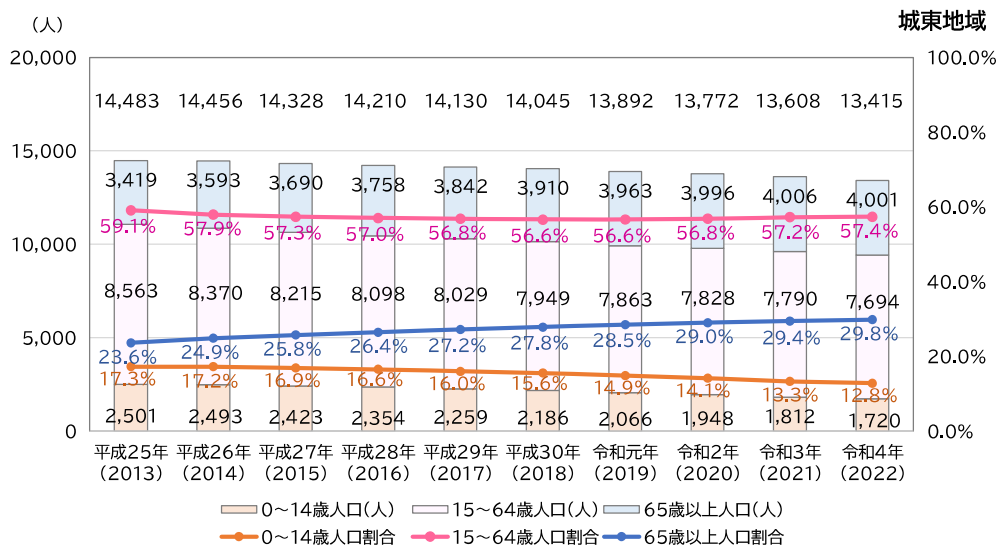
- ・地域内の人口は、令和4年時点で13,415人であり、本市の人口の18.5%を占めています。
- ・人口増減は、平成25年以降、減少しています。
- ・高齢化率は、令和4年時点で29.8%と市全体の29.4%よりわずかに高くなっています。
- ・人口密度は、四季の丘、もえぎヶ丘の住宅団地で最も高くなっているほか、富岡前駅周辺や前原の集落地で比較的高くなっています。

図 城東地域の人口密度(平成27年)



(資料：国勢調査)

図 城東地域の階層別人口の推移



※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

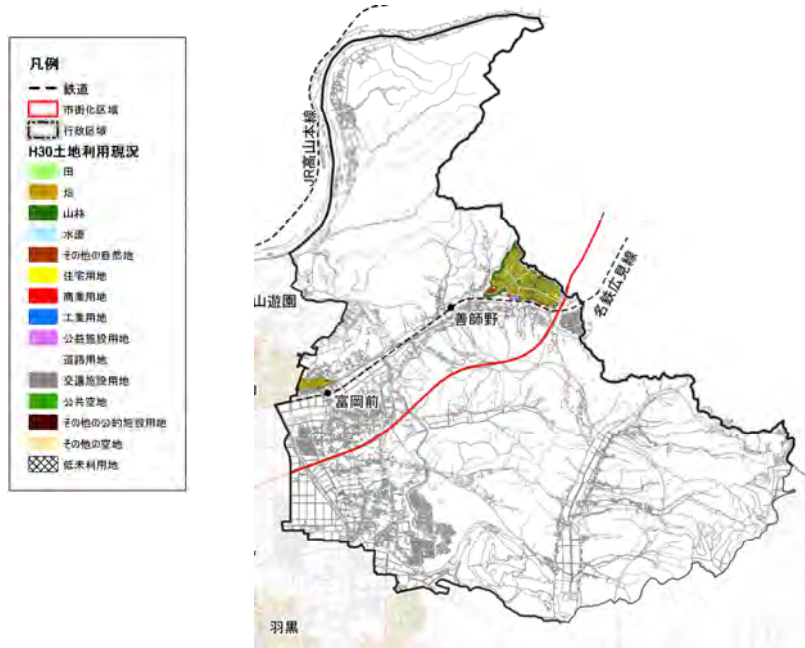
※各年3月31日(資料：犬山市資料)



## ●土地利用

- ・市街化調整区域が本地域の全域を占めており、名鉄沿線や幹線道路の周辺で大きな集落地が形成され、郊外において地区計画による大規模住宅団地が造成されています。また、国道 41 号沿道や地域南部で産業用地も形成されています。
- ・地域北部や東部では、田園・里山集落が広がっています。
- ・郷瀬川沿いや地域南西部に農用地が広がり、東部のほとんどが森林となっています。
- ・空家等が地域南部の集落地に比較的多く分布しています

図 城東地域の土地利用現況（平成 30 年）



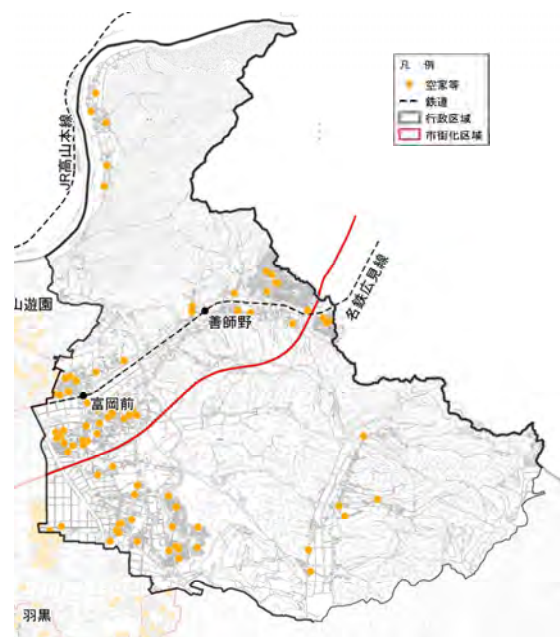
(資料：都市計画基礎調査)

図 城東地域の都市的低未利用地と生産緑地



(資料：都市計画基礎調査)

図 城東地域の空家等の分布

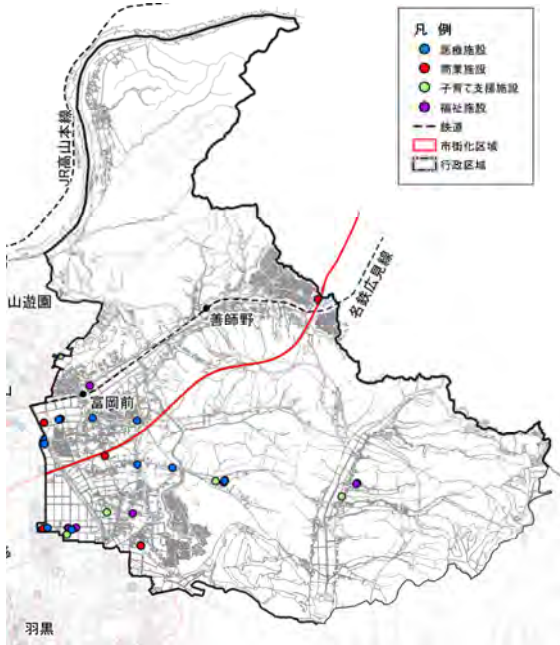


(資料：犬山市資料)

## ●施設分布状況

- ・富岡前駅周辺や地域南西部の集落地等周辺において、日常生活に密接に関連する都市機能が分布しています。

■図 城東地域の都市機能分布



### ●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市資料、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

### ●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市資料、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

### ●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市資料)

### ●福祉施設：

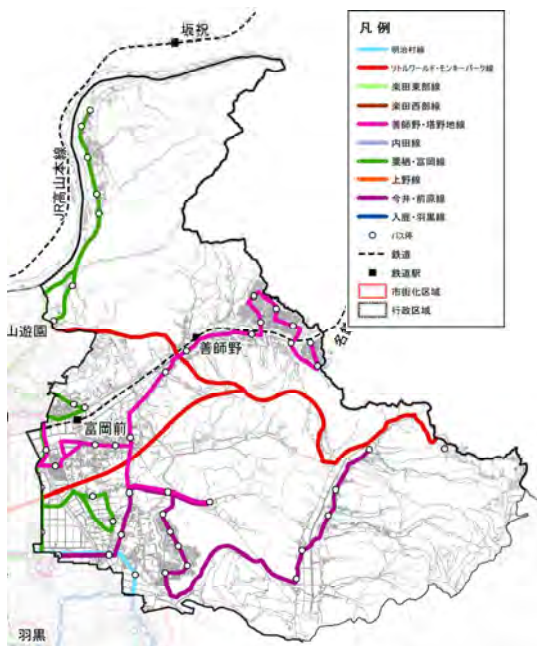
介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市資料)

## ●公共交通

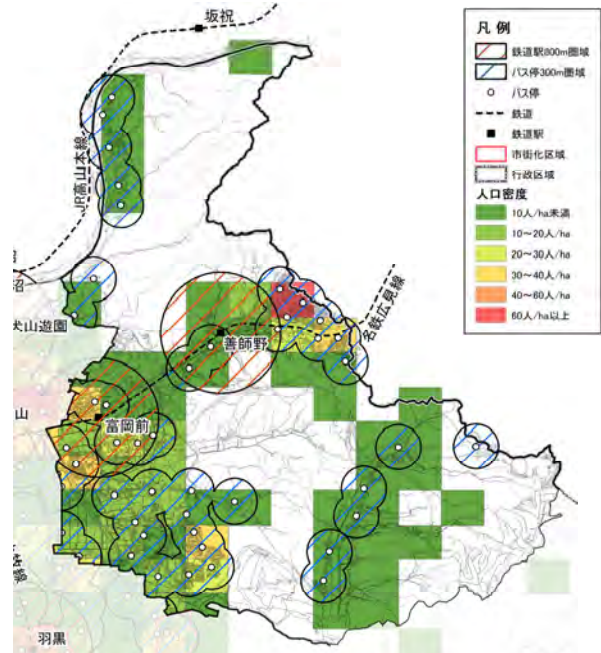
- ・市内鉄道駅は、富岡前駅、善師野駅の2駅が設置されています。
- ・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、富岡前駅や善師野駅周辺を中心に集落地や住宅団地を巡るように人口密度の高い地域のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。

■図 城東地域の鉄道駅・バスルート



(資料：国土数値情報)

■図 城東地域の鉄道駅とバスの圏域

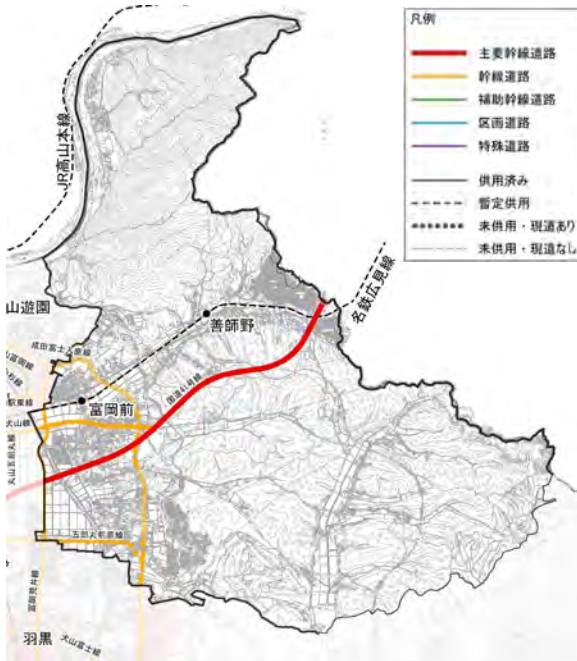


(資料：国土数値情報)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

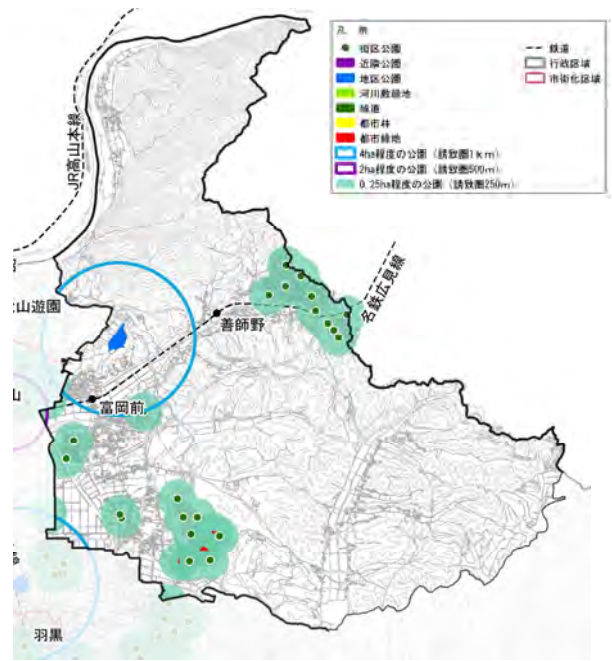
- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が残っており、そのほとんどが新たに築造する道路となります。
- ・都市公園の整備状況は、地域内の住宅団地は公園誘致圏に含まれますが、集落地で誘致圏外が多く見られます。

■図 城東地域の道路整備状況



(資料：犬山市資料)

■図 城東地域の公園整備状況

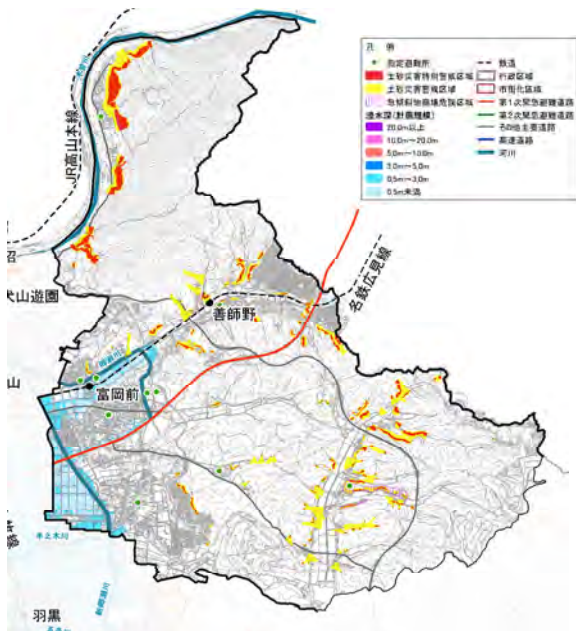


(資料：犬山市資料)

●災害リスク

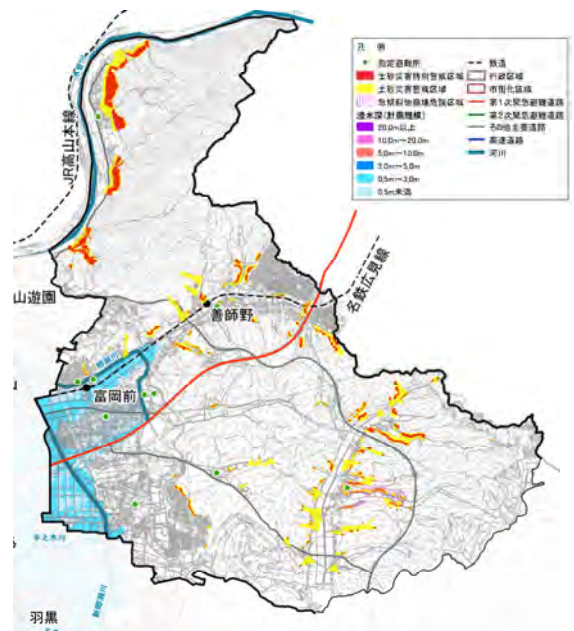
- ・丘陵部における傾斜地の多くで、土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されています。
- ・計画規模、想定最大規模ともに、地域南西部で浸水が想定されます。

■図 城東地域のハザードマップ（計画規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

■図 城東地域のハザードマップ（最大想定）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

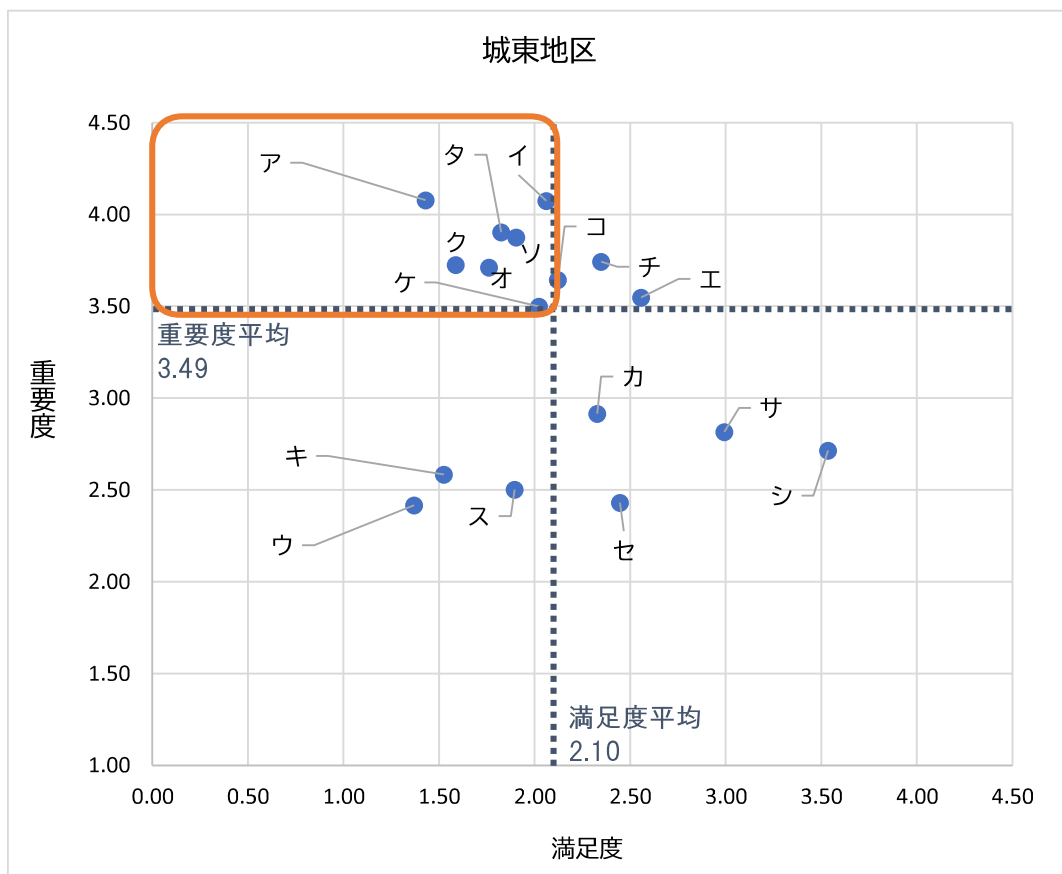
## ②城東地域の住民ニーズ

### ●市民アンケート

・城東地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の7つがあげられます。

- ア：日常の買い物に便利な施設が身近にある
- イ：病院など医療・福祉施設が身近にある
- オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
- ク：鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい
- ケ：コミュニティバスなど路線バスが充実している
- ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている
- タ：自然災害への対策が十分されている

▼日常の生活環境について（満足度×重要度）城東地区



（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある     | コ 下水道など衛生環境がよく整備されている    |
| イ 病院など医療・福祉施設が身近にある      | サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある  |
| ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある    | シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある   |
| エ 道路が整備され、車で移動しやすい       | ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある   |
| オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい   | セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある |
| カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある      | ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている    |
| キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある | タ 自然災害への対策が十分されている       |
| ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい     | チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ  |
| ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している  |                          |

## ●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見をいただきました。

## 城東地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

### 城東地域

- ・空き農地の有効活用
- ・市街化調整区域においても家を建てられるような規制緩和
- ・農地を宅地化
- ・コミュニティバスを便利にする
- ・犬山駅周辺まですぐ行けるようにする
- ・栗栖と岐阜県をつなげる橋を架ける
- ・商業施設を誘致
- ・歩いて行ける病院がほしい
- ・公園にトイレを整備
- ・池を活用した親水公園をつくる
- ・里山公園があればよい
- ・善師野の自然を多くの人々が体験できるように整備
- ・新郷瀬川の自然を守る
- ・土砂崩れしない道路を整備

### 犬山市全体

- ・城下町だけでなく、里山も観光地としてにぎわっていただけるまち
- ・休耕地を活かし、里山が保全されたまち
- ・高速道路が延長され、人の流れが確保されたまち
- ・瀬戸市と一宮市にも行けるように東西の道路が整備され、交通の便が良いまち

### 自らできること

- ・草刈りをする
- ・世代間交流を行い、若い人にこういった活動を伝えていく
- ・善師野の自然を地域外の人に発信し、地域の魅力を伝承する場を作る
- ・地域の活動に参加し、皆でのコミュニケーションを行う
- ・地域の人々が集まって話し合う
- ・休耕地を活かしてみんなで農業をやる



### ③城東地域の主要課題

#### ●土地利用の視点

##### <地域の生活利便性の維持・充実>

- ・準地区拠点に位置づけた富岡前駅、善師野駅周辺や前原の集落地等は、人口密度を維持することで日常生活に必要な機能の立地を支えるとともに、公共交通の利便性向上を図ることが必要です。
- ・コミュニティ拠点に位置づけた栗栖小学校と今井小学校の周辺は、日常生活に必要な機能や市街地との生活交通の確保を図り、二地域居住や多自然居住など新たな住まい方の受け皿になるなど、地域コミュニティの維持・充実を図ることが必要です。

##### <新たな産業用地の形成>

- ・塔野地地区の国道 41 号沿線とその周辺については、産業の新たな受け皿となる産業集積誘導エリアに位置付けており、施設の立地需要を勘案しつつ、周辺環境と調和した土地利用を図ることが必要です。

##### <東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用>

- ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山、まとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

#### ●交通の視点

##### <国道 41 号を中心とした交通体系の構築>

- ・国道 41 号に接続する(都)成田富士入鹿線は、ほとんどが未整備区間となっており、引き続き都市計画道路等の整備を進めることで、国道 41 号を中心とした広域的な交通体系を構築し、移動利便性を高めることが必要です。

##### <集落地や住宅団地における生活交通の維持・充実>

- ・富岡前駅や善師野駅は、コミュニティバスや自家用車、自転車等から鉄道に乗り換える交通結節点となっており、地域住民等の通勤・通学などを引き続き支えることが必要です。
- ・郊外の集落地や住宅団地において日常の生活交通を維持するため、コミュニティバスや路線バス、デマンド交通など地域の実情に応じた輸送手段の維持、確保が必要です。

##### <安全・安心な生活道路の確保>

- ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安全に、安心して通行できる生活道路や歩行空間の確保が必要です。

#### ●市街地整備等の視点

##### <市街化調整区域の住宅団地や集落地の居住環境の維持・充実>

- ・集落地や住宅団地における基盤施設の維持・改善や空き家の発生を抑制するなど居住環境の維持・向上を図ることが必要です。

## ●都市環境の視点

### <里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用>

- ・里山や木曽川、中島池といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、自然体験やアウトドア、憩いの場の創出など自然に親しめる空間として活用する必要があります。

### <老朽化する公共施設への対応>

- ・老朽化が進行する公共施設については、公共施設再編の方向性と整合しながら、施設の建替えや移転、長寿命化等の対応が必要です。

## ●都市防災の視点

### <災害に強い地域づくりの実現>

- ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

#### ④城東地域のまちづくり方針

##### ●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<城東地域のまちづくり目標>

**豊かな自然環境を遊びや学びに活かし心豊かに暮らせるまち**

##### ●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

分野	まちづくり方針
拠点形成 土地利用	<p>【準地区拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保</li> <li>○住宅団地における現在の市街地形態による居住環境の維持</li> <li>○都市基盤など既存ストックが整った地域における条例や地区計画等による住宅立地の緩和（許容）</li> </ul> <p>【コミュニティ拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活に必要な機能の確保と市街地とを結ぶ生活交通の確保・充実</li> <li>○犬山版優良田園住宅制度による住宅立地の緩和</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制</li> <li>○民間活力による今井開拓パイロット地区の有効活用</li> <li>○市街化調整区域にある既存の産業用地の操業環境の維持</li> <li>○産業集積誘導エリアにおける周辺環境に調和した新たな産業用地の形成</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内における幹線道路未整備区間の整備</li> <li>・【都】成田富士入鹿線（県への働きかけ）</li> <li>○県道栗栖犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）</li> <li>○交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施</li> <li>○幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善</li> <li>○富岡前駅、善師野駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・充実</li> <li>○路線バスによる公共交通ネットワークの維持・充実</li> <li>○コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実</li> </ul>
市街地 整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区計画など地域づくりのルールによる良好な居住環境の維持</li> <li>○県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進</li> <li>○空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進</li> </ul>
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内の河川沿いや遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成</li> <li>○里山の保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう環境の提供</li> </ul>



分野	まちづくり方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民農園など農とふれあう場としての活用</li> <li>○中島池・新池周辺のビオトープや遊歩道の活用と市民の憩いの場となる拠点の整備</li> <li>○市民健康館や里山学センターを拠点とした里山など自然環境を活用した健康づくりや環境学習の促進</li> <li>○都市公園等の魅力向上に向けた取組みの推進</li> <li>○地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進</li> <li>○郷瀬川改修の促進（県への働きかけ）</li> <li>○前原台団地における下水道整備の推進</li> <li>○個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討</li> <li>○城東小学校の改築と機能の充実</li> <li>○各務原市と連携した良好な木曾川景観の形成</li> <li>○地域特性を意識した景観づくりの推進</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全</li> <li>○災害時に機能するオープンスペースの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災広場の整備（善師野地区）</li> </ul> </li> <li>○土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化</li> </ul>

# ●城東地域のまちづくり方針図

**【コミュニティ拠点（栗栖地区）】**  
 ○日常生活に必要な機能の確保と市街地とを結ぶ生活交通の確保・充実

○二地域居住や多自然居住など新たな住まい方の受け皿となる犬山版優良田園住宅制度による住宅立地の緩和  
 ○各務原市と連携した良好な木曾川景観の形成

○市民農園など農とふれあう場としての活用

○県道栗栖犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）

○郷瀬川改修の促進（県への働きかけ）

○城東小学校の改築と機能の充実

**【準地区拠点（富岡前駅周辺）】**  
 ○身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保  
 ○都市基盤など既存ストックが整った地域における条例や地区計画等による住宅立地の緩和（許容）  
 ○富岡前駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・強化

○中島池・新池周辺のビオトープや遊歩道の活用と市民の憩いの場となる拠点の整備

○市街化調整区域にある既存の産業用地の操業環境の維持  
 ○産業集積誘導エリアにおける周辺環境と調和した新たな産業用地の形成

○地域内における幹線道路未整備区間の整備・【都】成田富士入鹿線（県への働きかけ）

○前原台団地における下水道整備の推進

**【準地区拠点（日の出住宅周辺・前原地区）】**  
 ○身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保  
 ○住宅団地における現在の市街地形態による居住環境の維持  
 ○都市基盤など既存ストックが整った地域における条例や地区計画等による住宅立地の緩和（許容）  
 ○路線バスによる公共交通ネットワークの維持・充実

○地域内の河川沿いや遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成  
 ○里山の保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう機会の提供

**【準地区拠点（善師野駅周辺）】**  
 ○身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保  
 ○都市基盤など既存ストックが整った地域における条例や地区計画等による住宅立地の緩和（許容）  
 ○善師野駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・強化

○善師野地区における防災広場の整備

○地区計画など地域づくりのルールによる良好な住環境の維持

**【地域全体】**  
 ○東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制  
 ○交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施  
 ○幅員4メートル未満の狭い道路の解消など生活道路の改善  
 ○コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実  
 ○県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進  
 ○空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進  
 ○都市公園等の魅力向上に向けた取組みの推進  
 ○地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進  
 ○個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討  
 ○地域特性を意識した景観づくりの推進  
 ○洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全  
 ○洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化

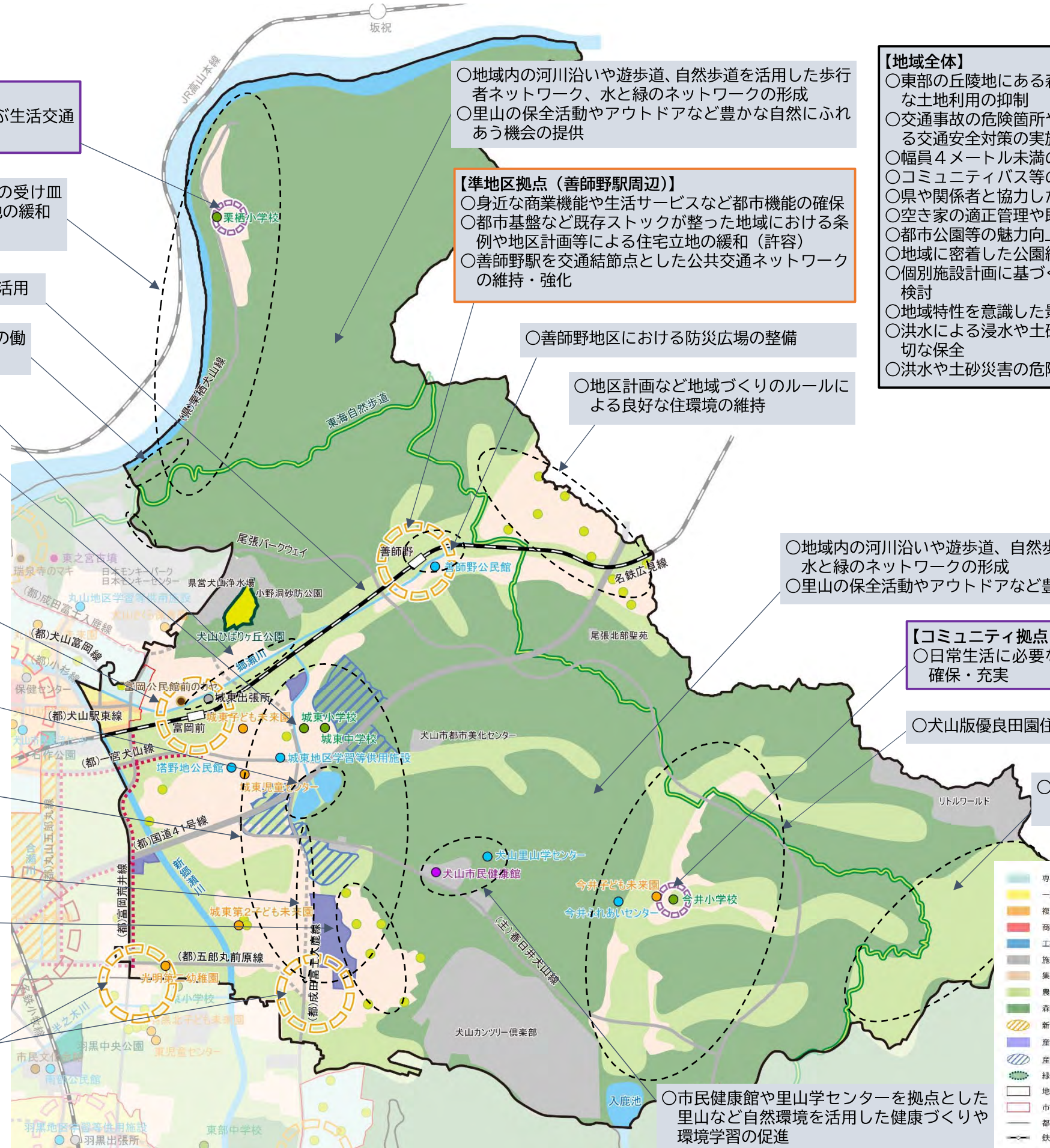
○地域内の河川沿いや遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成  
 ○里山の保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう機会の提供

**【コミュニティ拠点（今井地区）】**  
 ○日常生活に必要な機能の確保と市街地とを結ぶ生活交通の確保・充実

○犬山版優良田園住宅制度による住宅立地の緩和

○民間活力による今井開拓パイロット地区の有効活用

○市民健康館や里山学センターを拠点とした里山など自然環境を活用した健康づくりや環境学習の促進



専用住宅地	都市拠点（犬山地区）	行政施設
一般住宅地	都市拠点（鶴爪・五部丸地区）	福祉施設
複合住宅地	地区拠点	教育施設
商業業務地	準地区拠点	文化施設
工業地	コミュニティ拠点	子育て支援施設
施設用地	商業集積ライン	集会所
集落地等	地区公園	代表的な歴史遺産
農地等	近隣公園	景観重要樹木
森林等	街区公園	
新市街地検討エリア	緑道・遊歩道	
産業用地	主要河川軸	
産業集積誘導エリア		
緑地		
地域界		
市街化区域		
都市計画道路等		
鉄道・駅		

### 3) 羽黒地域

#### ①羽黒地域の現状

##### ●地域の概況

- ・羽黒地域は市の中央部に位置し、地域西部は丹羽郡大口町と隣接しています。
- ・羽黒駅が位置し、その周辺や地域東部に市街地を形成しており、市街地の周辺を集落地や農地が広く分布し、その中を巡るように3つの河川が流れています。
- ・地域西部は国道41号とのアクセス性も良いため、産業集積が進むエリアを有しています。
- ・地域北部にはスポーツ活動を支える多目的スポーツ広場や体育館を有する羽黒中央公園と、文化活動を支える市民文化会館等があり、その付近にはするすみふれあい広場や磨墨塚史跡公園、羽黒城址をはじめとする市民の憩いの場が立地しています。
- ・橋爪・五郎丸方面や羽黒駅からのアクセス利便性の高さを活かし、河川沿いの歩行者ネットワークや、多くの市民が利用するスポーツ・文化施設の利活用を促進し、健康的で安らぎと潤いある暮らしを支えることが期待されます。

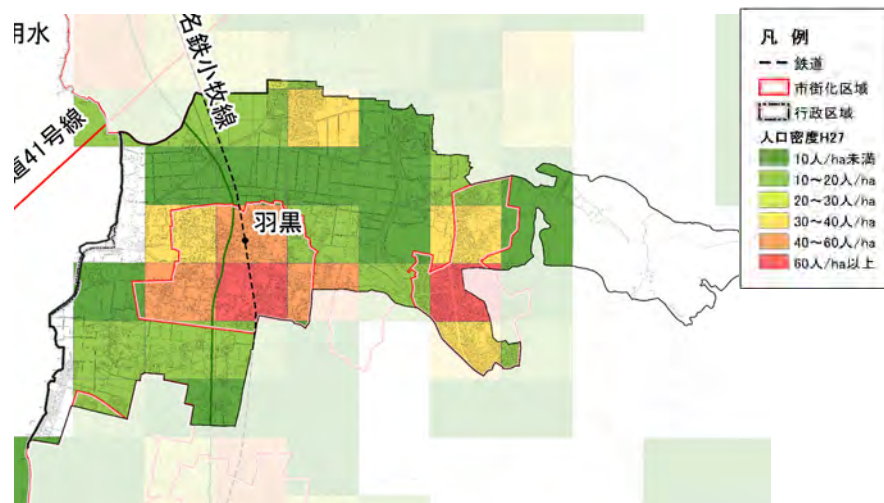
##### ■図表 羽黒地域の概況

※現況図や写真を掲載予定

## ●人口

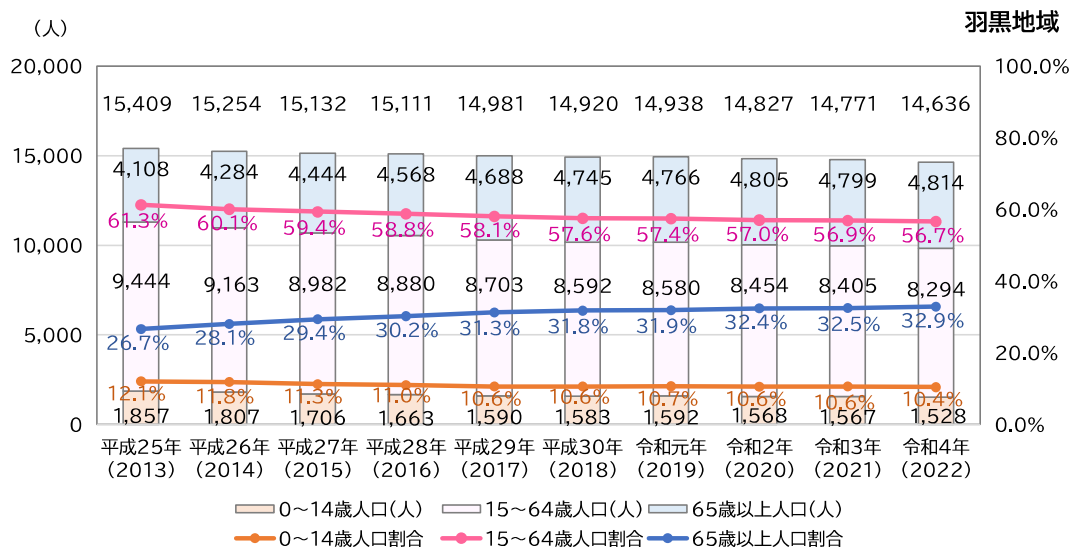
- ・地域内の人口は、令和4年時点で14,636人であり、本市の人口の20.1%を占めています。
- ・人口増減は、平成25年以降、減少傾向にあります。
- ・高齢化率は、令和4年時点で32.9%と市全体の29.4%より高くなっています。
- ・人口密度は、市街化区域における羽黒駅周辺の市街地及び東部の住宅団地で高くなっています。

図 羽黒地域の人口密度（平成27年）



(資料：国勢調査)

図 羽黒地域の階層別人口の推移



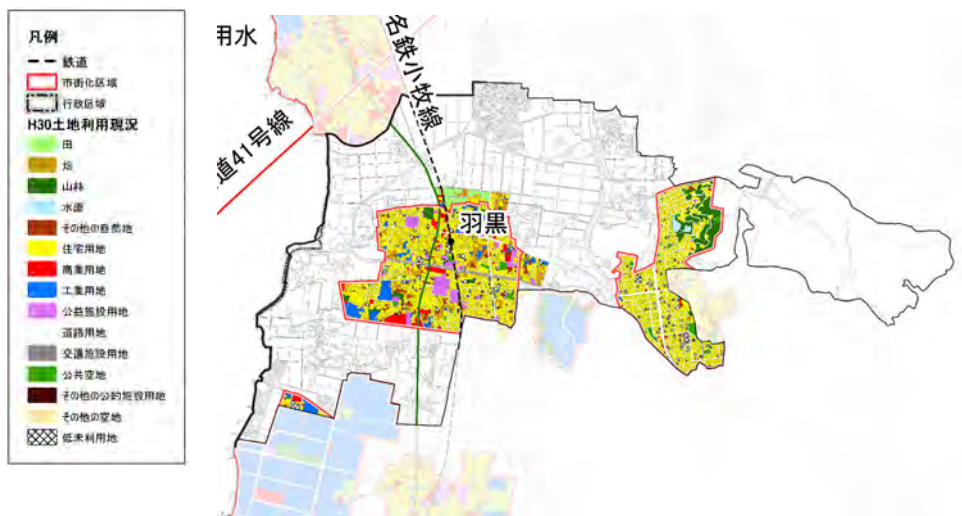
※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

※各年3月31日（資料：犬山市資料）

## ●土地利用

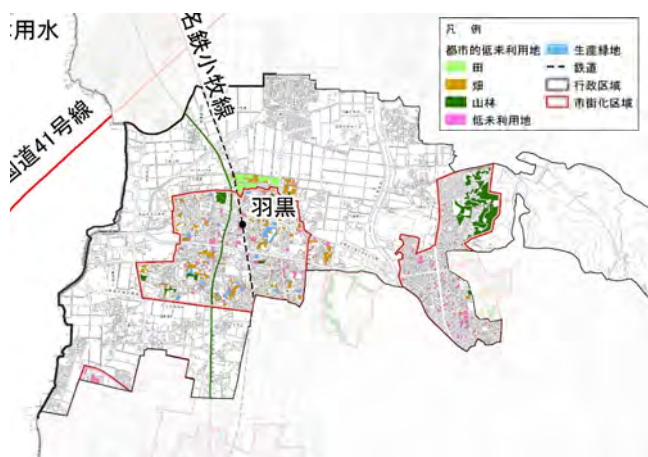
- ・市街化区域は、羽黒駅周辺で住宅地としての土地利用が主体となっており、地域東部には区画整理による大規模住宅団地が造成されています。また、工業地は、地域南西部にまとまって分布しています。
- ・都市的低未利用地が市街化区域全体に分布しており、生産緑地は羽黒駅周辺に多くみられます。
- ・市街化調整区域は、集落地が点在し、その周辺に農用地が広がっています。また、地域東部は森林となっています。
- ・空家等が市街化区域内に広く分布し、市街化調整区域の住宅団地にも多く分布しています。

図 羽黒地域の土地利用現況（平成 30 年）



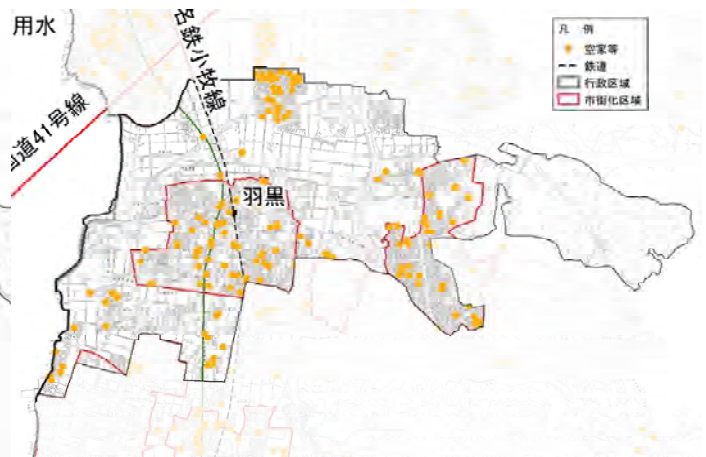
(資料：都市計画基礎調査)

図 羽黒地域の都市的低未利用地と生産緑地



(資料：都市計画基礎調査)

図 羽黒地域の空家等の分布



(資料：犬山市資料)

## ●施設分布状況

- ・羽黒駅周辺に日常生活に密接に関連する都市機能が分布し、東部の住宅団地や集落地において医療・福祉施設等の分布が見られます。

■図 羽黒地域の都市機能分布



### ●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市資料、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

### ●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市資料、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

### ●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市資料)

### ●福祉施設：

介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市資料)

## ●公共交通

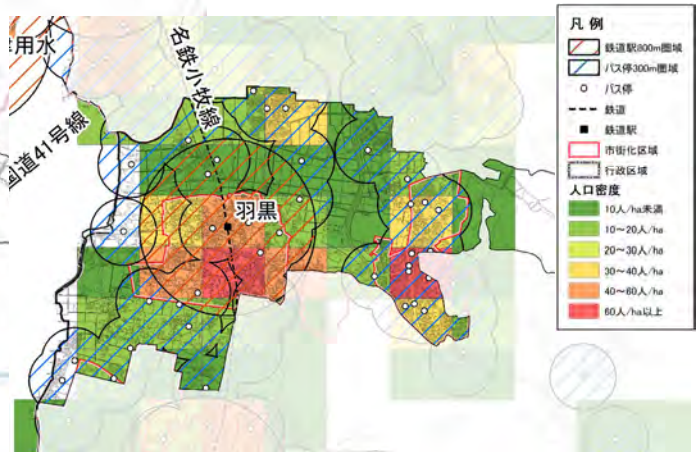
- ・市内鉄道駅は、羽黒駅が設置されています。
- ・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、羽黒駅周辺を中心に集落地や住宅団地を巡るように人口密度の高い地域のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。

■図 羽黒地域の鉄道駅・バスルート



(資料：国土数値情報)

■図 羽黒地域の鉄道駅とバスの圏域



(資料：国土数値情報)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

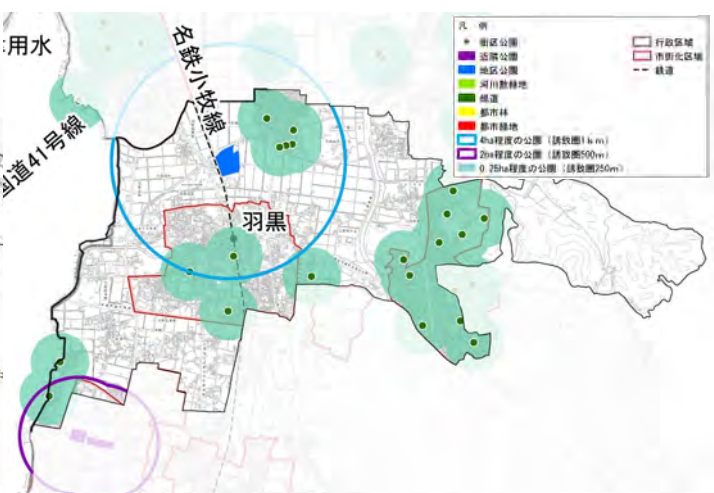
- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く残っており、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、一部の区間では現道のない未整備区間が残っています。
- ・都市公園の整備状況は、市街化区域内のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域の一部や集落地で誘致圏外が見られます。

■図 羽黒地域の道路整備状況



(資料：犬山市資料)

■図 羽黒地域の公園整備状況



(資料：犬山市資料)

●災害リスク

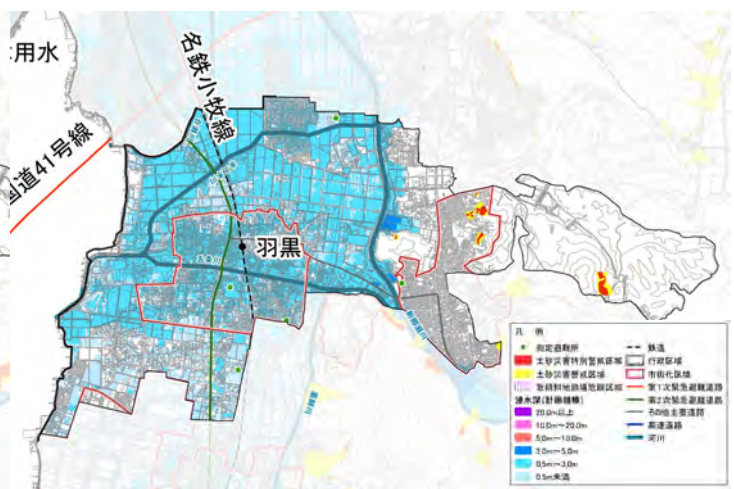
- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域東部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模、想定最大規模ともに、羽黒駅周辺の市街地やその周辺の農地で浸水が想定されます。

■図 羽黒地域のハザードマップ（計画規模）

■図 羽黒地域のハザードマップ（想定最大規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

## ②羽黒地域の住民ニーズ

### ●市民アンケート

・羽黒地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の4つがあげられます。

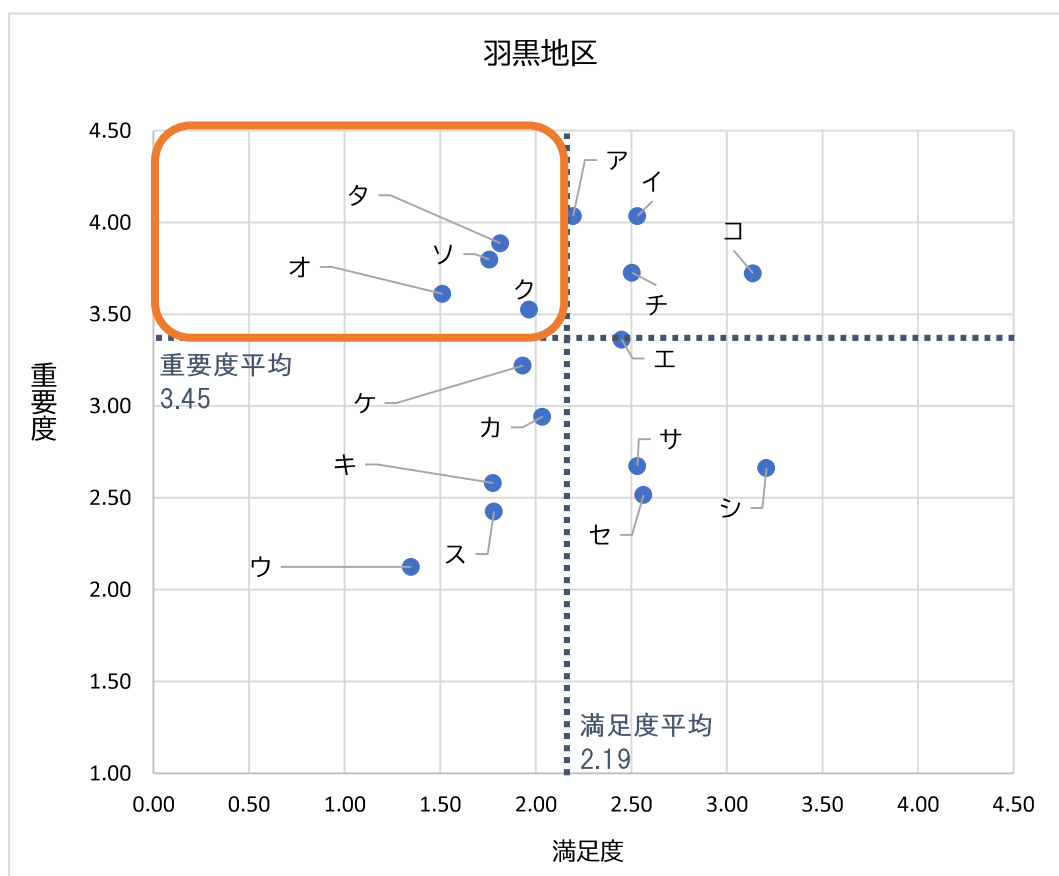
オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

ク：鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい

ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている

タ：自然災害への対策が十分されている

▼日常の生活環境について（満足度×重要度）羽黒地区



(令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより)

ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある

イ 病院など医療・福祉施設が身近にある

ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある

エ 道路が整備され、車で移動しやすい

オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある

キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある

ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい

ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

コ 下水道など衛生環境がよく整備されている

サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある

シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある

ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある

セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある

ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている

タ 自然災害への対策が十分されている

チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ



## ●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見等をいただきました。

## 羽黒地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

### 羽黒地域

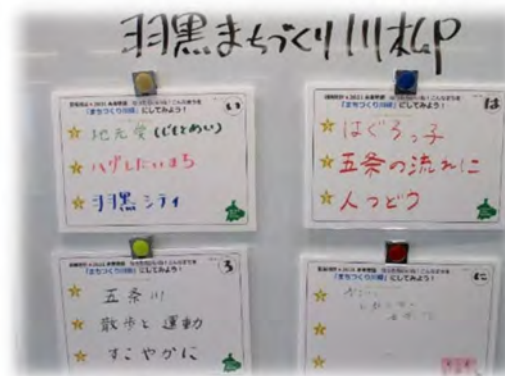
- ・ 駅と駅周辺を整備
- ・ 狭あい道路を解消
- ・ 羽黒地区の東西における市街地開発
- ・ 空家が少ないまち
- ・ 耕作放棄地を活用
- ・ 歩行者、自転車が安全に使用できる道路整備
- ・ 循環バスを便利にする
- ・ デマンドバスが利用できるといい
- ・ 複合型モールがほしい
- ・ 街並みが明るく商店が多くできるといい
- ・ 子どもの遊び場を増やす
- ・ 五条川をきれいにする
- ・ 子どもの安全を守るまち
- ・ 近くに災害時の集合場所がほしい
- ・ 高齢者にとって住みやすいまち

### 犬山市全体

- ・ 商業施設があり、人々が長く住み続けるまち
- ・ シルバー人材が活躍できるまち
- ・ 観光地として人気なまち
- ・ 元気な高齢者と子供の交流ができるように、自然を活用したまち
- ・ 高齢者が住みやすいまち
- ・ コミュニティバスが便利なまち
- ・ 道路がきちんと整備されたまち
- ・ 子育てしやすいまち

### 自らできること

- ・ 農業の手伝い、近隣の見守りなどのボランティア活動を行う
- ・ 市内での従業及び地産地消などに貢献する
- ・ よく散歩し、自らの健康状態を向上させる
- ・ 近所とのかかわり、見守りをする
- ・ 自己中心を改め、人と協力し合うようにする
- ・ 人とのつながりを大事に地域でよく会する



### ③羽黒地域の主要課題

#### ●土地利用の視点

##### <地区拠点における生活利便性の高い市街地の形成>

- ・地区拠点に位置づけた羽黒駅周辺では、駅周辺の市街地だけでなく、東部の住宅団地や池野地域の日常生活を支える都市機能の立地を促進するとともに、道路や公共交通ネットワークの強化により利便性の高い市街地の形成を図ることが必要です。

##### <住宅団地や集落地の利便性の維持・充実>

- ・準地区拠点に位置づけた長者町団地や日の出住宅、前原の集落地等は、人口密度を維持することで日常生活に必要な機能の立地を支えるとともに、バス路線の公共交通ネットワークの維持・強化による地域の利便性の確保・充実を図ることが必要です。

##### <新たな産業用地の形成と既存工業地の維持>

- ・犬山公園小牧線沿道にある既存の工業地周辺については、産業の新たな受け皿となる産業集積誘導エリアに位置付けており、施設の立地需要を勘案しつつ、周辺環境と調和した土地利用を図ることが必要です。また、既存の工業地においては、地域の活力維持・向上のため、操業環境の維持・強化が必要です。

##### <東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用>

- ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山、まとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

#### ●交通の視点

##### <羽黒駅を中心とした交通体系の構築>

- ・羽黒駅は、コミュニティバスや自家用車、自転車等から鉄道に乗り換える交通結節点となっており、地域住民等の通勤・通学などを引き続き支えることが必要です。また、羽黒駅へのアクセス性を向上する基盤整備が必要です。
- ・郊外の集落地や住宅団地において日常の生活交通を維持するため、コミュニティバスや路線バスなど地域の実情に応じた輸送手段の維持、確保が必要です。

##### <地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築>

- ・南北の幹線道路である（都）富岡荒井線が開通し、地域内の交通形態も変化することが予想されるため、地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築を進め、都市基盤が未整備な市街地内の自動車交通を抑制するとともに、安全・安心な歩行環境の形成が必要です。

##### <安全・安心な生活道路の確保>

- ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安全に、安心して通行できる生活道路の確保が必要です。

## ●市街地整備等の視点

### <既存ストックを活かした居住機能の集積>

- ・市街化区域の市街地や市街化調整区域の住宅団地における人口密度は高い傾向にある一方、地域の人口は減少傾向にあり、居住機能の集積と居住環境の改善に向けて、空き家や空き地等の都市的低未利用を有効に活用することが必要です。

### <生活道路など基盤整備による居住環境の改善>

- ・古くから形成されてきた市街地や基盤未整備の市街地においては、狭あい道路の解消や雨水浸水対策など基盤整備による居住環境の改善と都市的低未利用地の宅地化を促進することが必要です。

## ●都市環境の視点

### <里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用>

- ・里山や五条川、新郷瀬川といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、ウォーキングなど健康づくりや憩いの場として自然に親しめる空間として活用することが必要です。

### <羽黒中央公園等の利活用促進>

- ・スポーツ・文化活動を支える羽黒中央公園と市民文化会館については、利便性の維持・向上を図り、より一層市民に利用される施設を目指すことが必要です。

### <老朽化する公共施設への対応>

- ・老朽化が進行する公共施設については、公共施設再編の方向性と整合しながら、施設の建替えや移転、長寿命化等の対応が必要です。

## ●都市防災の視点

### <災害に強い地域づくりの実現>

- ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

#### ④羽黒地域のまちづくり方針

##### ●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<羽黒地域のまちづくり目標>

まちなかの緑と水辺に親しみ健康的で安らぎと潤いのあるまち

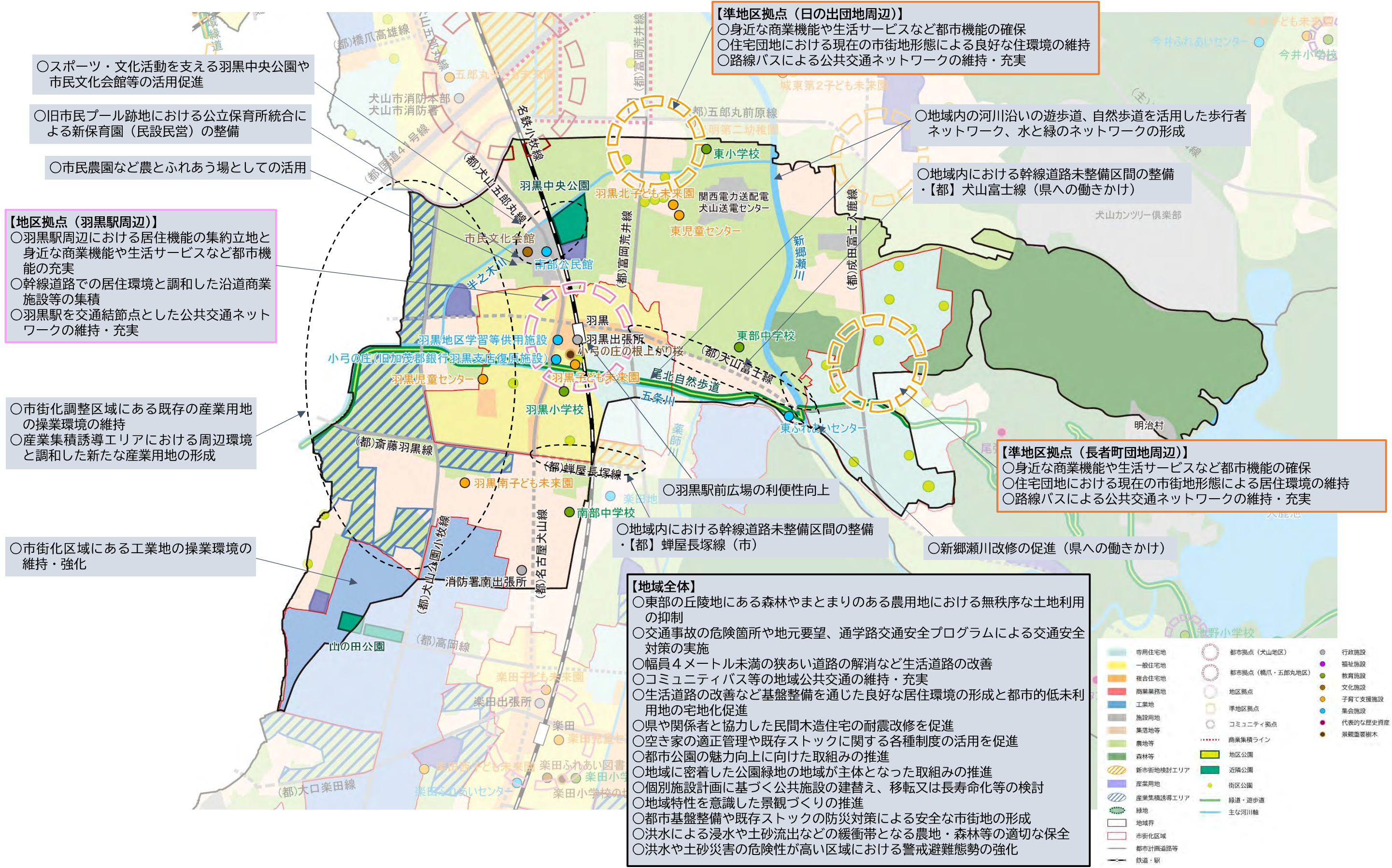
##### ●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

分野	まちづくり方針
拠点形成 土地利用	<p>【地区拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○羽黒駅周辺における居住機能の集約立地と身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の充実</li> <li>○幹線道路での居住環境と調和した沿道商業施設等の集積</li> </ul> <p>【準地区拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保</li> <li>○住宅団地における現在の市街地形態による居住環境の維持</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制</li> <li>○市街化区域にある工業地の操業環境の維持・強化</li> <li>○市街化調整区域にある既存の産業用地の操業環境の維持</li> <li>○産業集積誘導エリアにおける周辺環境と調和した新たな産業用地の形成</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内における幹線道路未整備区間の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【都】 犬山富士線（県への働きかけ）・【都】 蝉屋長塚線</li> </ul> </li> <li>○交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施</li> <li>○幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善</li> <li>○羽黒駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・充実</li> <li>○羽黒駅前広場の利便性向上</li> <li>○路線バスによる公共交通ネットワークの維持・充実</li> <li>○コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実</li> </ul>
市街地 整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活道路の改善など基盤整備を通じた良好な居住環境の形成と都市的低未利用地の宅地化促進</li> <li>○県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進</li> <li>○空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進</li> </ul>
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内の河川沿いの遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成</li> <li>○市民農園など農とふれあう場としての活用</li> </ul>

分野	まちづくり方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市公園の魅力向上に向けた取組みの推進</li> <li>○スポーツ・文化活動を支える羽黒中央公園や市民文化会館等の活用促進</li> <li>○地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進</li> <li>○新郷瀬川改修の促進（県への働きかけ）</li> <li>○個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討</li> <li>○旧市民プール跡地における公立保育所統合による新保育園（民設民営）の整備</li> <li>○地域特性を意識した景観づくりの推進</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市基盤整備や既存ストックの防災対策による安全な市街地の形成</li> <li>○洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全</li> <li>○洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化</li> </ul>

# ●羽黒地域のまちづくり方針図



## 4) 楽田地域

### ①楽田地域の現状

#### ●地域の概況

- ・楽田地域は市の南部に位置し、地域南部は小牧市、地域西部は丹羽郡大口町と隣接しています。
- ・楽田駅が位置し、その周辺や地域南西部に住宅地が広がり、市街化区域東部に工業地が立地しており、その周辺に集落地や住宅団地が分布しています。
- ・地域西部と北部に工業団地が形成されており、産業基盤の中心となっています。
- ・地域南部には名古屋経済大学などの教育施設が立地しています。
- ・地域内には青塚古墳や大縣神社をはじめとする歴史・文化資源や大縣神社の周辺やその東部にはハイキングなどで親しまれる里山などがあります。
- ・楽田駅によるアクセス利便性や魅力ある地域資源、小牧市との近接を活かした定住促進や産業基盤の維持・強化を図り、市全体の地域活力を支えることが期待されます。

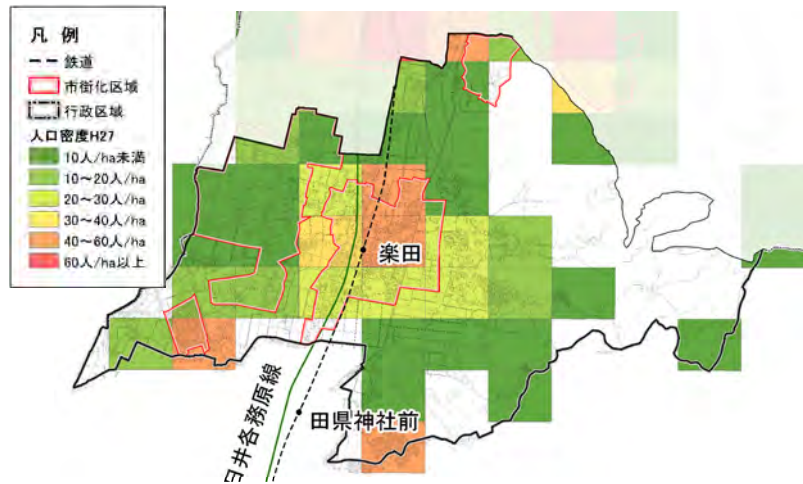
■図表 楽田地域の概況

※現況図や写真を掲載予定

## ●人口

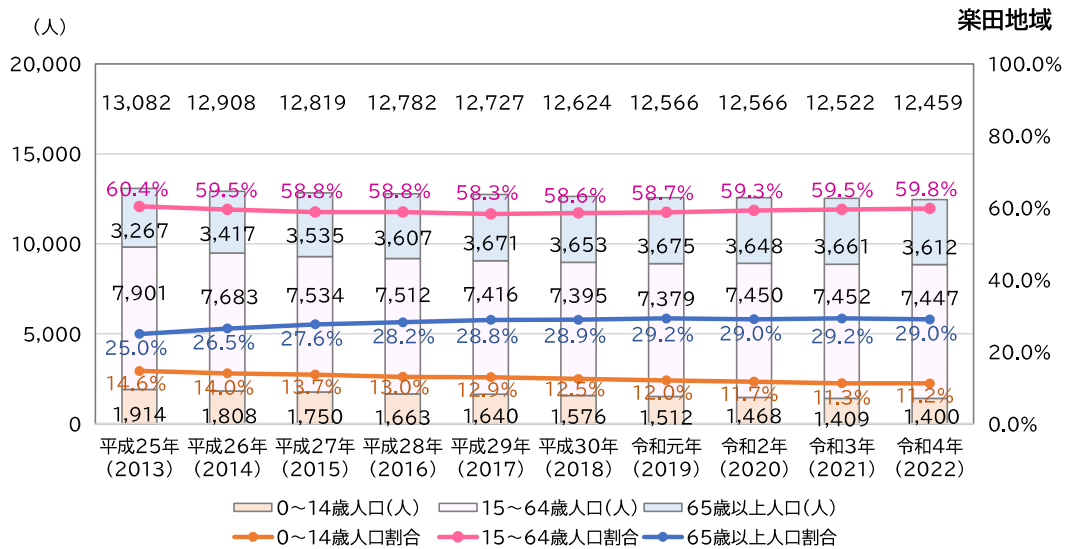
- ・地域内の人口は、令和4年時点で12,459人であり、本市の人口の17.2%を占めています。
- ・人口増減は、平成25年以降、減少しています。
- ・高齢化率は、令和4年時点で29.0%と市全体の29.4%よりわずかに低くなっています。
- ・人口密度は、市街化区域における楽田駅周辺の市街地及び南西部の住宅団地等で高くなっています。

図 楽田地域の人口密度（平成27年）



(資料：国勢調査)

図 楽田地域の階層別人口の推移



※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

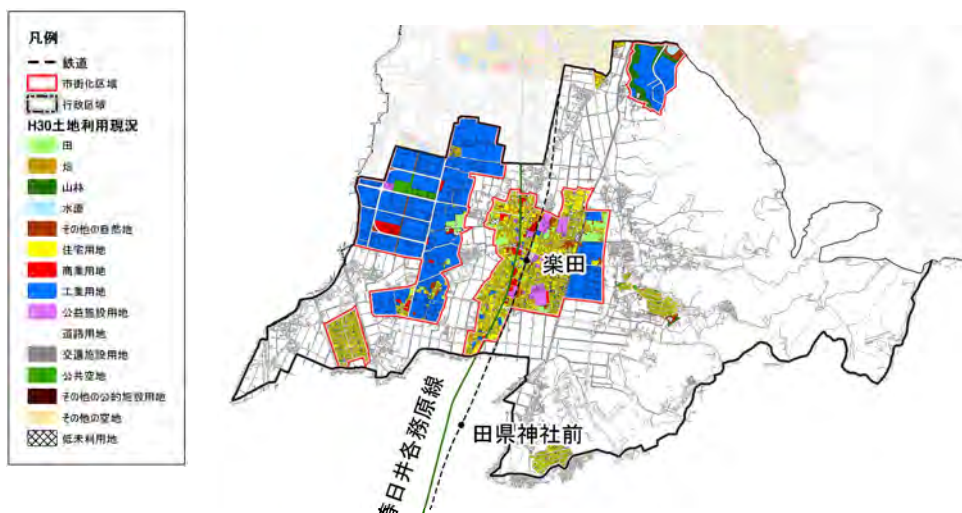
※各年3月31日 (資料：犬山市資料)



## ●土地利用

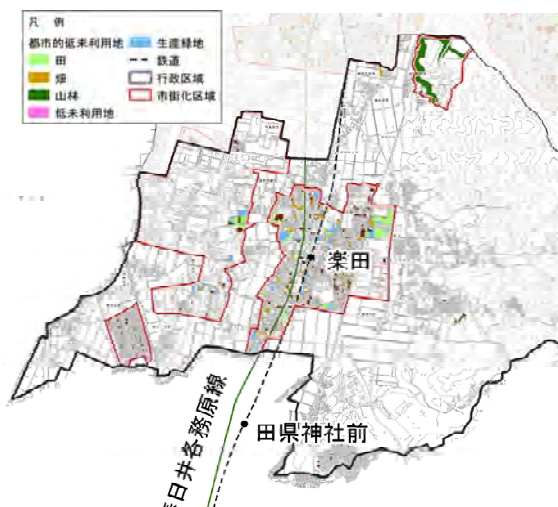
- ・市街化区域は、楽田駅周辺や西楽田団地で住宅地としての土地利用が主体となっており、地域東部では工業地の土地利用が主体となっています。また、地域西部と北部に工業団地が造成されています。
- ・都市的低未利用地は市街化区域全体に分布しています。また、生産緑地は楽田駅周辺に多く見られます。
- ・市街化調整区域は、集落地が点在し、地区計画による大規模住宅団地も造成されています。また、集落地の周辺に農用地が広がり、地域東部は森林となっています。
- ・空家等は市街化区域内に多くみられます。

図 楽田地域の土地利用現況（平成 30 年）



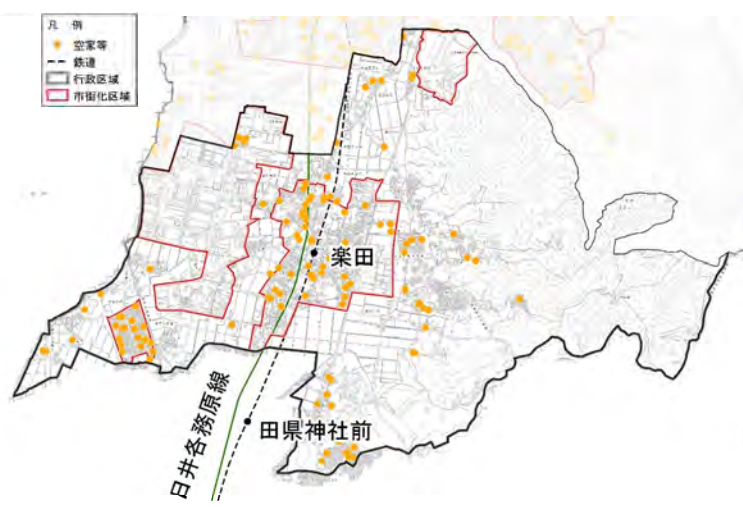
（資料：都市計画基礎調査）

図 楽田地域の都市的低未利用地と生産緑地



（資料：都市計画基礎調査）

図 楽田地域の空家等の分布

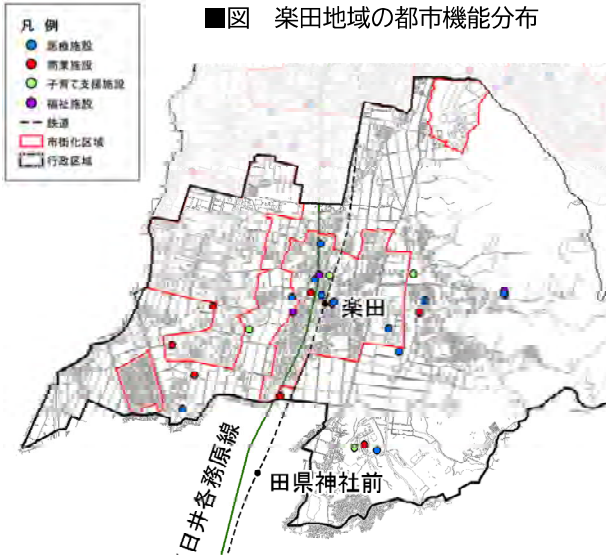


（資料：犬山市資料）

## ●施設分布状況

- ・楽田駅周辺や幹線道路沿道において日常生活に密接に関連する都市機能が分布しています。

■図 楽田地域の都市機能分布



### ●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市資料、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

### ●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市資料、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

### ●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市資料)

### ●福祉施設：

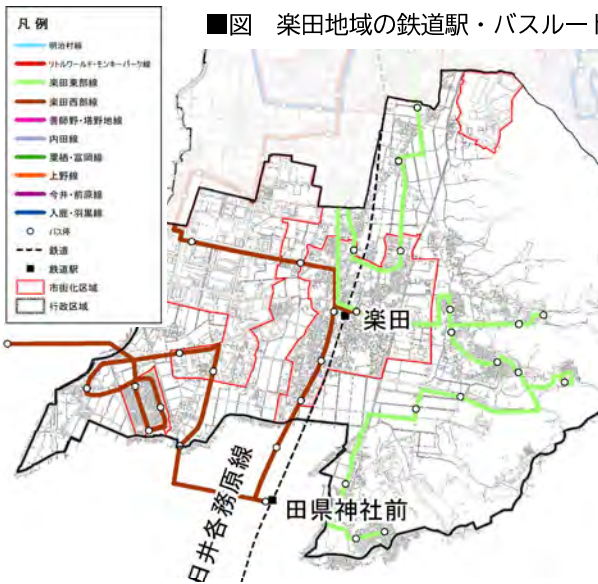
介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市資料)

## ●公共交通

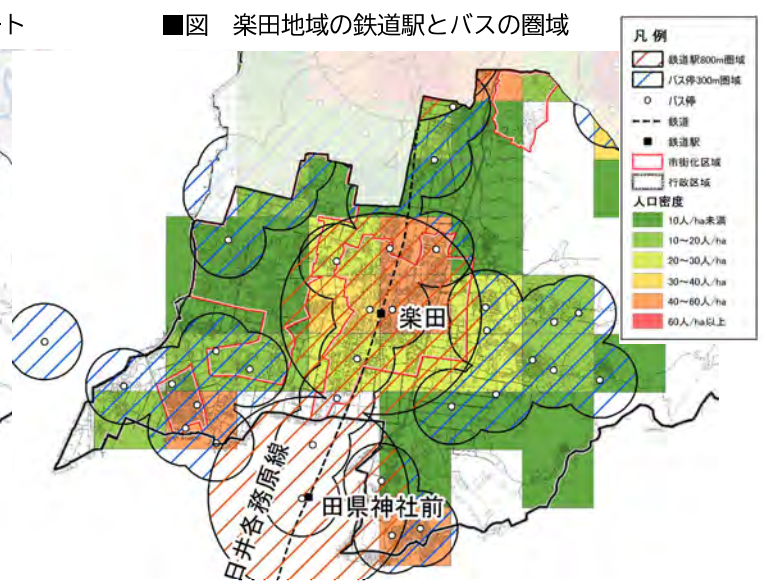
- ・市内鉄道駅は、楽田駅が設置されています。
- ・バス路線（停留所）の設置状況を含めると、集落地や住宅団地を巡るように人口密度の高い地域のほとんどが鉄道、バスの徒歩圏域でカバーされています。

■図 楽田地域の鉄道駅・バスルート



(資料：国土数値情報)

■図 楽田地域の鉄道駅とバスの圏域



(資料：国土数値情報)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

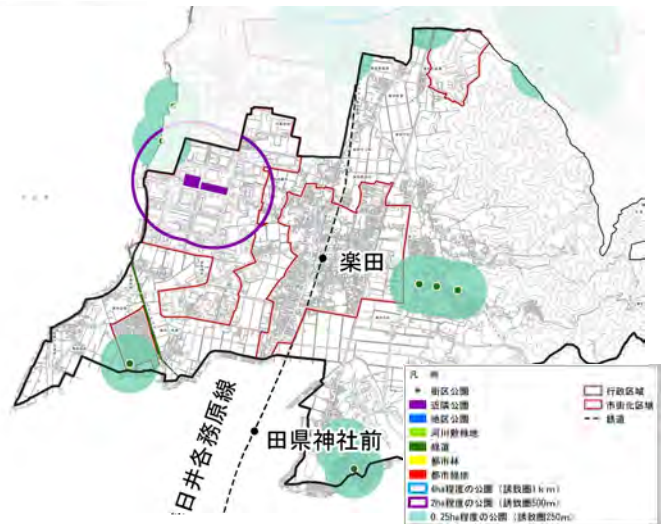
- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く残っており、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、地域内の交通を処理する補助幹線道路では現道のない未整備区間が残っています。
- ・都市公園の整備状況は、工業団地や住宅団地のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域や集落地等で誘致圏外が多く見られます。

■図 楽田地域の道路整備状況



(資料：犬山市資料)

■図 楽田地域の公園整備状況

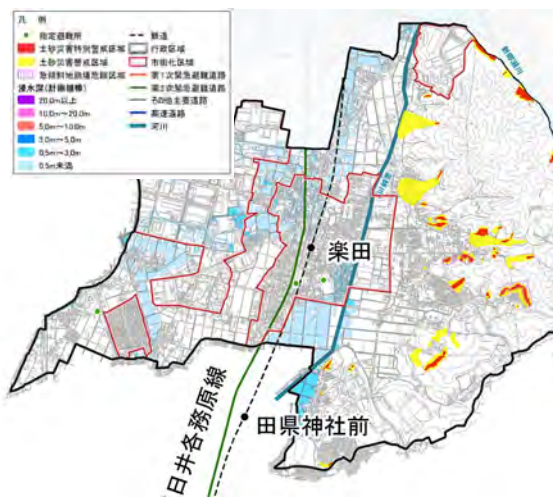


(資料：犬山市資料)

●災害リスク

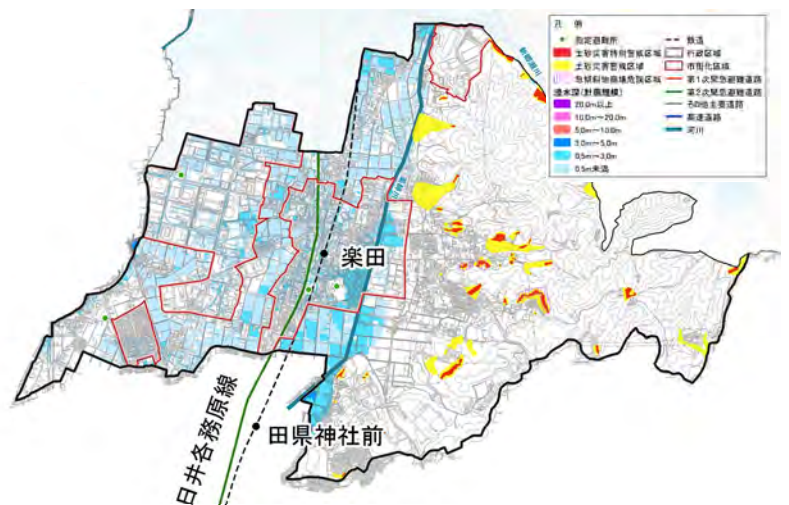
- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域東部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模において市街地周辺の農地や工業団地の一部で浸水が想定され、想定最大規模では楽田駅周辺の市街地においても浸水が想定されます。

■図 楽田地域のハザードマップ（計画規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

■図 楽田地域のハザードマップ（最大想定規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

## ②楽田地域の住民ニーズ

### ●市民アンケート

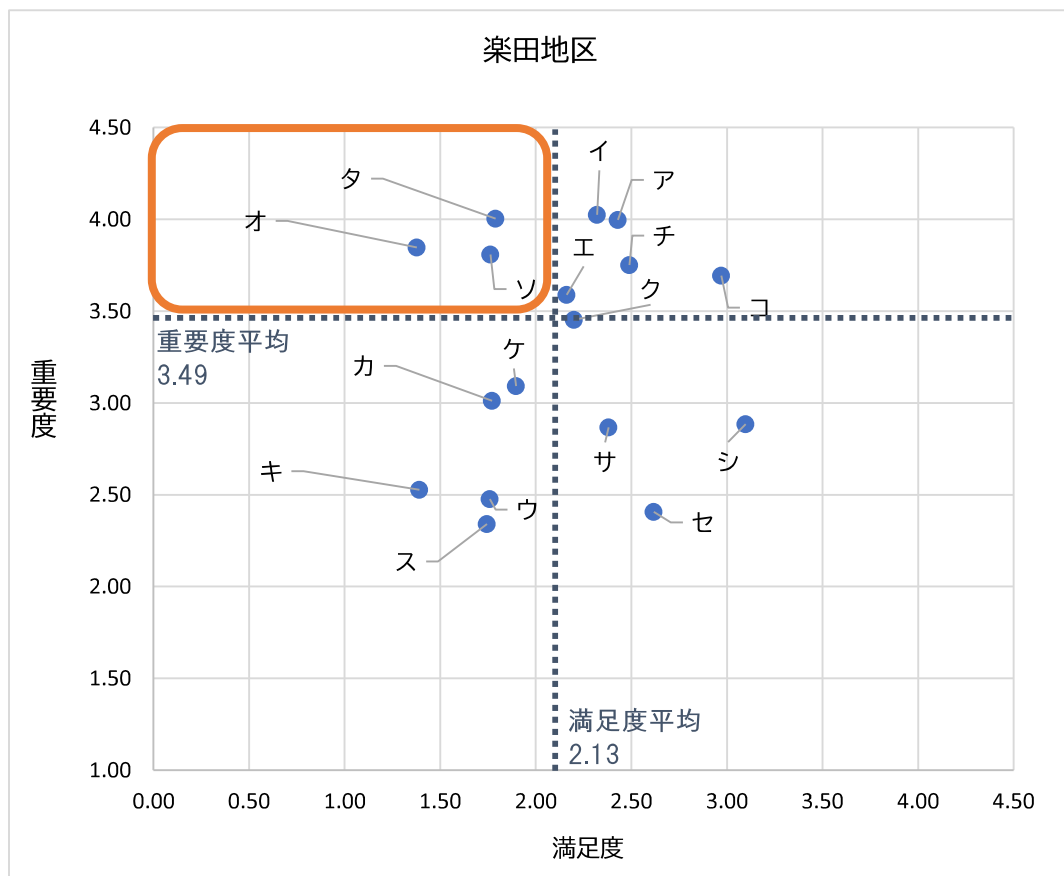
・楽田地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の3つがあげられます。

オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい

ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている

タ：自然災害への対策が十分されている

▼日常の生活環境について（満足度×重要度）楽田地区



（令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより）

ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある  
 イ 病院など医療・福祉施設が身近にある  
 ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある  
 エ 道路が整備され、車で移動しやすい  
 オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい  
 カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある  
 キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある  
 ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい  
 ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している

コ 下水道など衛生環境がよく整備されている  
 サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある  
 シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある  
 ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある  
 セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある  
 ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている  
 タ 自然災害への対策が十分されている  
 チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ

## ●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見をいただきました。

## 楽田地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

### 楽田地区

- ・小牧線東側を発展させる
- ・大きな会社が増えるとよい
- ・農地を開発、活用してハード整備
- ・楽田駅西におけるまちの利便性向上
- ・コミュニティバスを便利にする
- ・コミュニティバスで市中心に時間をかけずに行けるようにする
- ・道路を整備
- ・お店が増えるとよい
- ・買い物が便利なまち
- ・公園に桜を植えて花見ができるようにする
- ・歴史的な神社をもっと観光化して宣伝する
- ・安心して遊べる場所を確保
- ・安全なまちづくり
- ・高齢者であっても住み続けられるまち
- ・若い人が増えるとよい

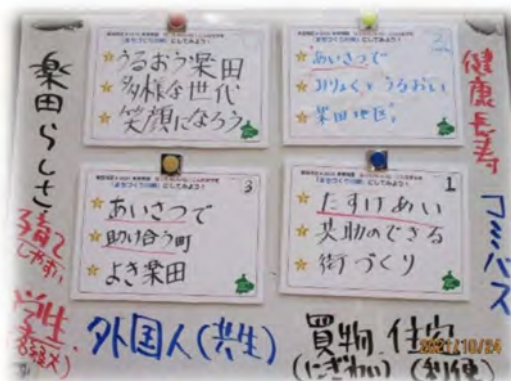
### 犬山市全体

- ・子育てしやすいまち
- ・外国人が住みやすいまち
- ・スーパーなど買い物ができる場所が多く、便利なまち
- ・みんなであいさつできるまち
- ・みんなでお祭りができる、楽しいまち
- ・健康長寿のまち



### 自らできること

- ・高齢者に声をかける
- ・子ども達にあいさつする
- ・仲間集めをする
- ・行政に頼りすぎずに、みんなで助け合う
- ・みんなであいさつをする



### ③楽田地域の主要課題

#### ●土地利用の視点

##### <地区拠点における生活利便性の高い市街地の形成>

- ・地区拠点に位置づけた楽田駅周辺では、駅周辺の市街地や市街化調整区域の住宅団地、集落地等の日常生活を支える都市機能の立地を促進するとともに、道路や公共交通ネットワークの強化により利便性の高い市街地の形成を図ることが必要です。

##### <鉄道駅の利便性を活かした居住機能の確保>

- ・楽田駅周辺や田県神社前駅に近接する市内地域では、小牧市や名古屋市へのアクセス利便性を活かした新たな定住人口を受け入れるための居住機能の確保が必要です。

##### <新たな産業用地の形成と既存工業地の維持>

- ・犬山公園小牧線や若宮江南線沿線にある既存の工業地周辺については、産業の新たな受け皿となる産業集積誘導エリアに位置付けており、施設の立地需要を勘案しつつ、周辺環境と調和した土地利用を図ることが必要です。また、既存の工業地においては、地域の活力維持・向上のため、操業環境の維持・強化が必要です。

##### <東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用>

- ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山、まとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

#### ●交通の視点

##### <楽田駅を中心とした交通体系の構築>

- ・楽田駅はコミュニティバスが発着し、自家用車や自転車等からも鉄道に乗り換える交通結節点となっており、地域住民等の通勤・通学をはじめとした移動を引き続き支えることが必要です。
- ・郊外の集落地や住宅団地において日常の生活交通を維持するため、コミュニティバスなど地域の実情に応じた輸送手段の維持、確保が必要です。

##### <地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築>

- ・(都) 富岡荒井線が南北に開通し、地域内の交通形態も変化することが予想されるため、地域内の自動車交通を円滑に処理する交通体系の構築を進め、都市基盤が未整備な市街地内の自動車交通を抑制するとともに、安全・安心な歩行環境の創出が必要です。

##### <安全・安心な生活道路の確保>

- ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安全に、安心して通行できる生活道路や歩行空間の確保が必要です。

## ●市街地整備等の視点

### <既存ストックの活用や市街地整備等による定住の促進>

- ・市街化区域の市街地や市街化調整区域の住宅団地における人口密度は高い傾向にある一方、地域の人口は減少傾向にあり、居住機能の集積と居住環境の改善に向けて、空き家や空き地等の都市的低未利用を有効に活用することが必要です。

### <生活道路など基盤整備による居住環境の改善>

- ・古くから形成されてきた市街地や基盤未整備の市街地においては、狭あい道路の解消や雨水浸水対策など基盤整備による居住環境の改善と都市的低未利用地の宅地化を促進する必要があります。

## ●都市環境の視点

### <里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用>

- ・里山や薬師川といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、ウォーキングなど健康づくりや憩いの場として自然に親しめる空間として活用することが必要です。

### <青塚古墳や大懸神社など歴史的風致の維持・向上>

- ・青塚古墳や大懸神社等の歴史・文化資源は地域固有の資源であり、周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。

### <老朽化する公共施設への対応>

- ・老朽化が進行する公共施設については、公共施設再編の方向性と整合しながら、施設の建替えや移転、長寿命化等の対応が必要です。

## ●都市防災の視点

### <災害に強い地域づくりの実現>

- ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

#### ④楽田地域のまちづくり方針

##### ●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<楽田地域のまちづくり目標>

**魅力ある地域資源と産業立地が調和した地域活力を生み出すまち**

##### ●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

分野	まちづくり方針
拠点形成 土地利用	<p>【地区拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楽田駅周辺における居住機能の集約立地と身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の充実</li> <li>○幹線道路での居住環境と調和した沿道商業施設等の集積</li> </ul> <p>【市外駅近エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保</li> <li>○都市基盤など既存ストックが整った地域における条例や地区計画等による住宅立地の緩和（許容）</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制</li> <li>○市街化区域にある工業地の操業環境の維持・強化</li> <li>○新たな住居系市街地の形成（市街化編入）を目指した検討</li> <li>○市街化調整区域にある既存の産業用地の操業環境の維持</li> <li>○産業集積誘導エリアにおける周辺環境と調和した新たな産業用地の形成</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内における幹線道路未整備区間の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【都】 蝉屋長塚線（市）</li> </ul> </li> <li>○交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施</li> <li>○市道楽田桃花台線の道路拡幅による歩行者の安全性確保</li> <li>○幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善</li> <li>○楽田駅、田県神社前駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・充実</li> <li>○楽田駅前広場の有効活用</li> <li>○コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実</li> </ul>
市街地 整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活道路の改善など基盤整備を通じた良好な居住環境の形成と都市的低未利用地の宅地化促進</li> <li>○地区計画など地域づくりのルールによる良好な居住環境の維持</li> <li>○県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進</li> <li>○空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進</li> </ul>



分野	まちづくり方針
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内の河川沿いの遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成</li> <li>○里山の保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう機会の提供</li> <li>○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用</li> <li>○都市公園の魅力向上に向けた取組みの推進</li> <li>○地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進</li> <li>○五ヶ村排水区における雨水幹線や貯留施設の整備</li> <li>○個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討</li> <li>○地域特性を意識した景観づくりの推進</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市基盤整備や既存ストックの防災対策による安全な市街地の形成</li> <li>○洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全</li> <li>○洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化</li> <li>○急傾斜地崩壊危険対策（北大門）の促進（県への働きかけ）</li> </ul>

# ●楽田地域のまちづくり方針図

- 市街化調整区域にある既存の産業用地の操業環境の維持
- 産業集積誘導エリアにおける周辺環境と調和した新たな産業用地の形成

- 【地区拠点（楽田駅周辺）】**
- 楽田駅周辺における居住機能の集約立地と身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の充実
  - 幹線道路での居住環境と調和した沿道商業施設等の集積
  - 楽田駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・充実

- 市街化区域にある工業地の操業環境の維持・強化

- 五ヶ村排水区における雨水幹線や貯留施設の整備

- 市街化調整区域にある既存の産業用地の操業環境の維持
- 産業集積誘導エリアにおける周辺環境と調和した新たな産業用地の形成

- 周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用

○楽田駅前広場の有効活用

- 新たな住居系市街地の形成（市街化編入）を目指した検討

- 【市外駅近エリア】**
- 身近な商業機能や生活サービスなど都市機能の確保
  - 田県神社前駅を交通結節点とした公共交通ネットワークの維持・充実
  - 都市基盤など既存ストックが整った地域における条例や地区計画等による住宅立地の緩和（許容）

- 新たな住居系市街地の形成（市街化編入）を目指した検討
- 地域内における幹線道路未整備区間の整備・【都】蝉屋長塚線（市）

- 地域内の河川沿いの遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成

- 市街化区域にある工業地の操業環境の維持・強化

- 急傾斜地崩壊危険対策（北大門）の促進（県への働きかけ）

- 里山の保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう機会の提供

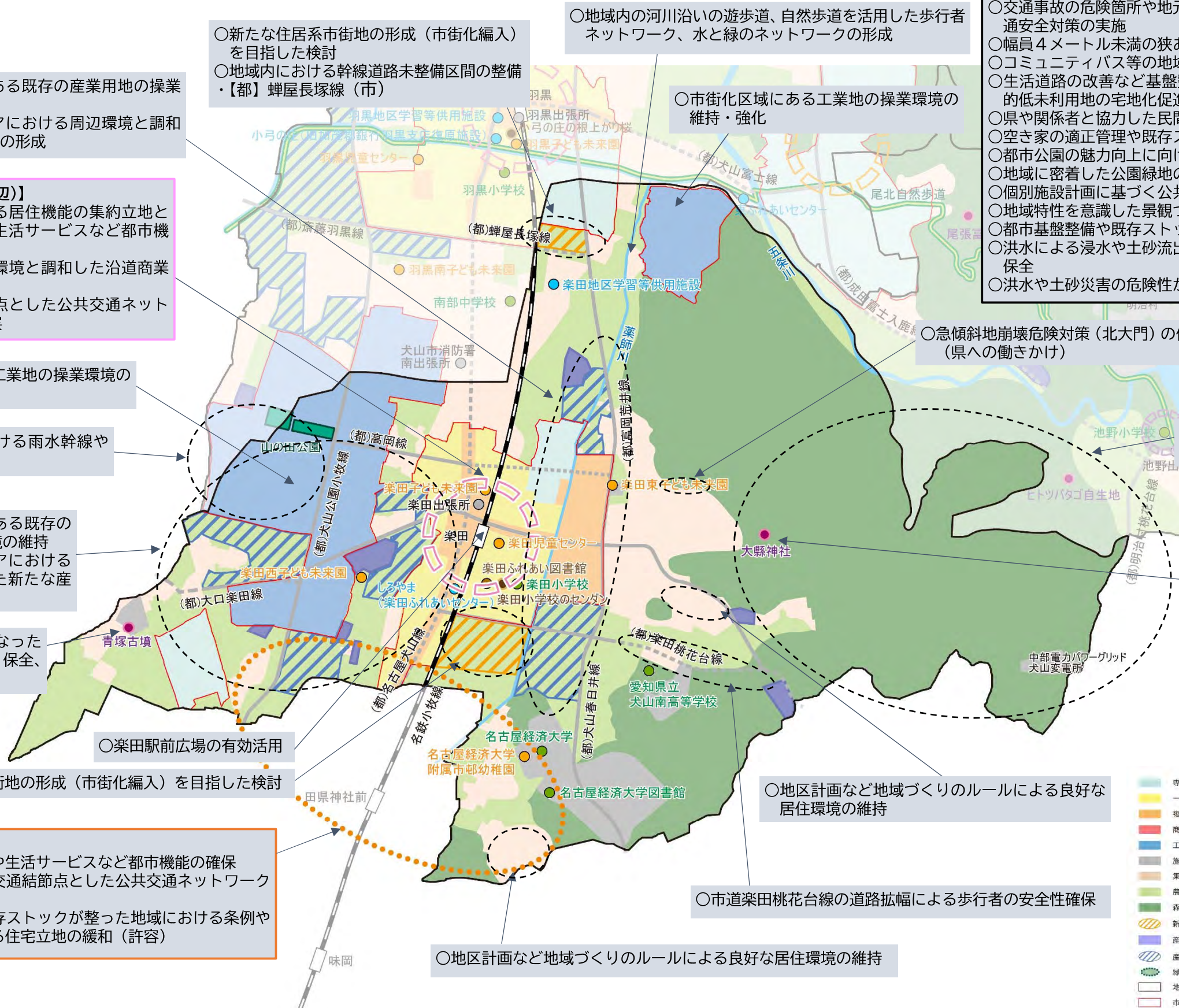
- 周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用

- 地区計画など地域づくりのルールによる良好な居住環境の維持

- 市道楽田桃花台線の道路拡幅による歩行者の安全性確保

- 地区計画など地域づくりのルールによる良好な居住環境の維持

- 【地域全体】**
- 東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制
  - 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施
  - 幅員4メートル未満の狭い道路の解消など生活道路の改善
  - コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実
  - 生活道路の改善など基盤整備を通じた良好な居住環境の形成と都市的低未利用地の宅地化促進
  - 県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進
  - 空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進
  - 都市公園の魅力向上に向けた取組みの推進
  - 地域に密着した公園緑地の地域が主体となった取組みの推進
  - 個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討
  - 地域特性を意識した景観づくりの推進
  - 都市基盤整備や既存ストックの防災対策による安全な市街地の形成
  - 洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全
  - 洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化



## 5) 池野地域

### ①池野地域の現状

#### ●地域の概況

- ・池野地域は市の南東部に位置し、地域南部は小牧市、春日井市、地域東部は多治見市と隣接しています。
- ・地域東部の一部にまとまった住宅地があり、地域西部や入鹿池周辺に集落地が分布し、地域東部のほとんどが森林となっています。
- ・地域中央に入鹿池や博物館明治村があり、地域西部には尾張富士、東部には八曾自然休養林が広がり、南西部にはヒトツバタゴ自生地が存在するなど、歴史・文化、観光やアウトドアなどで親しまれる自然豊かな地域です。
- ・地域南部には小牧東 IC が近接しており、高速道路の利用による広域的な交通形態を有する地域となっています。
- ・入鹿池や八曾自然休養林、博物館明治村など多様な地域資源と広域的な道路交通網を活用し、市全体の新たな観光交流を支えることが期待されます。

■図表 池野地域の概況

※現況図や写真を掲載予定

## ●人口

- ・地域内の人口は、令和4年時点で1,318人であり、本市の人口の1.8%に当たります。
- ・人口増減は、微増と微減を繰り返していますが、概ね横ばいで推移しています。
- ・高齢化率は、令和4年時点で26.0%と市全体の29.4%より低くなっています。
- ・人口密度は、地域のほとんどが10人/ha未満となっています。

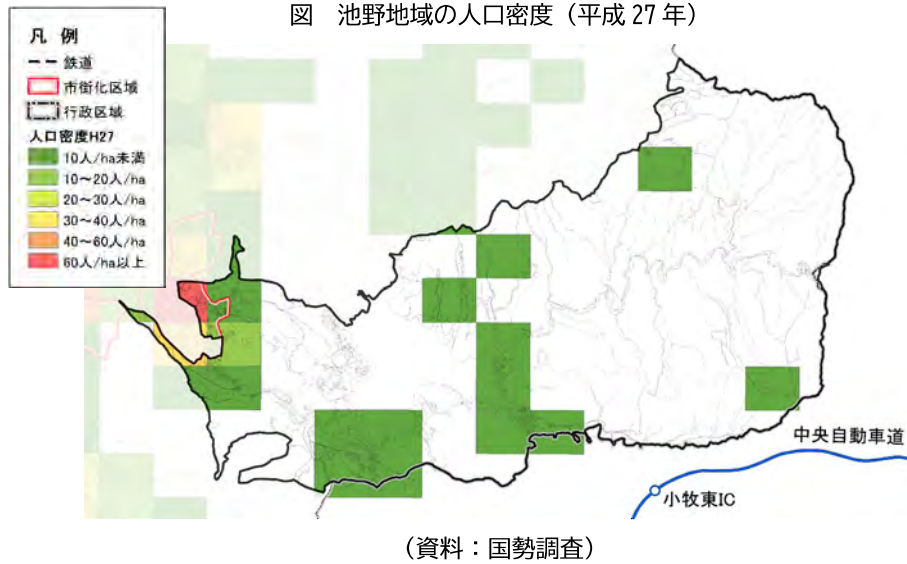
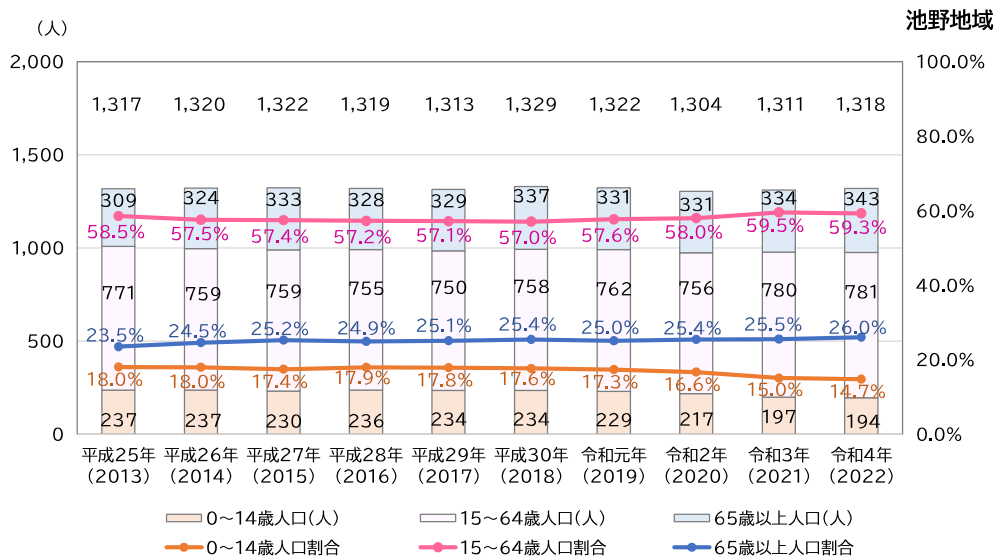


図 池野地域の階層別人口の推移



※少数点第二位で四捨五入しているため、構成比の合計は100%とならない。

※各年3月31日（資料：犬山市資料）

## ●土地利用

- ・地域東部の一部が市街化区域となっていますが、本地域のほとんどを市街化調整区域であり、地域西部や地域中央部の入鹿池周辺に集落地が分布しています。また、地域西部と東部に農用地が広がり、東部のほとんどが森林となっています。
- ・空家等は、市街化区域内や入鹿池周辺の集落地等に少なからずみられます。

図 池野地域の土地利用現況（平成 30 年）

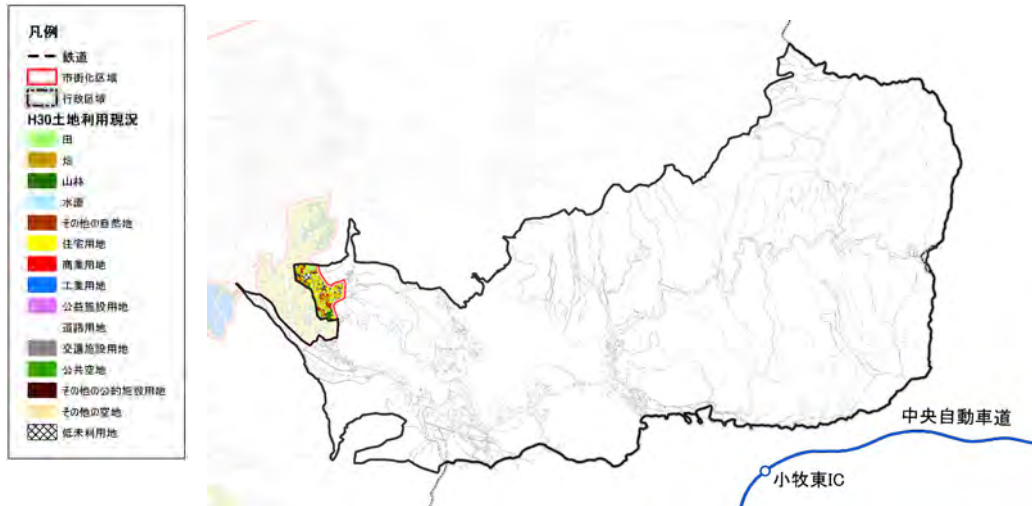
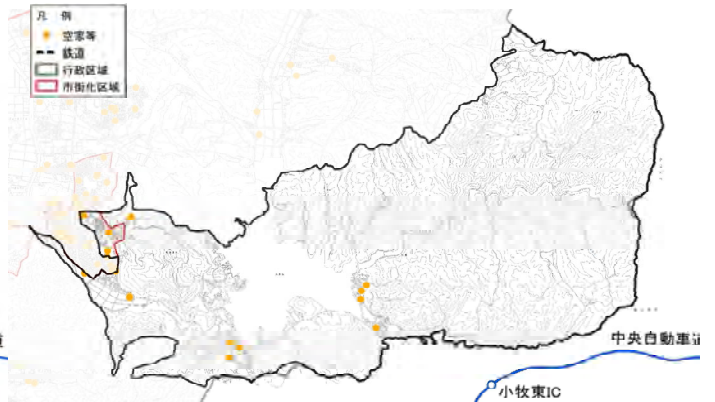


図 池野地域の都市的低未利用地と生産緑地



（資料：都市計画基礎調査）

図 池野地域の空家等の分布



（資料：犬山市資料）

## ●施設分布状況

- ・幹線道路沿道にコンビニエンスストアや老人憩いの家が分布しています。また、地域西端に医療施設（療育施設）の分布も見られます。



### ●医療施設：

病院、診療所等

(資料：犬山市資料、愛知県医療機関名簿（令和2年度）)

### ●商業施設：

大型店舗、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等

(資料：犬山市資料、全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧（愛知県）)

### ●子育て支援施設：

保育園、幼稚園、児童センター等

(資料：犬山市資料)

### ●福祉施設：

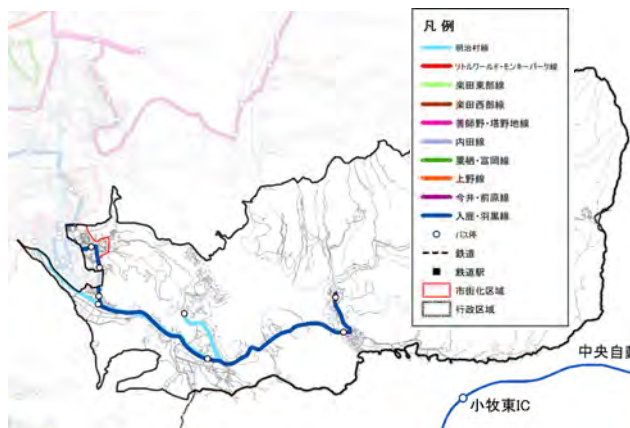
介護サービス施設、老人福祉センター・老人憩いの家等

(資料：犬山市資料)

## ●公共交通

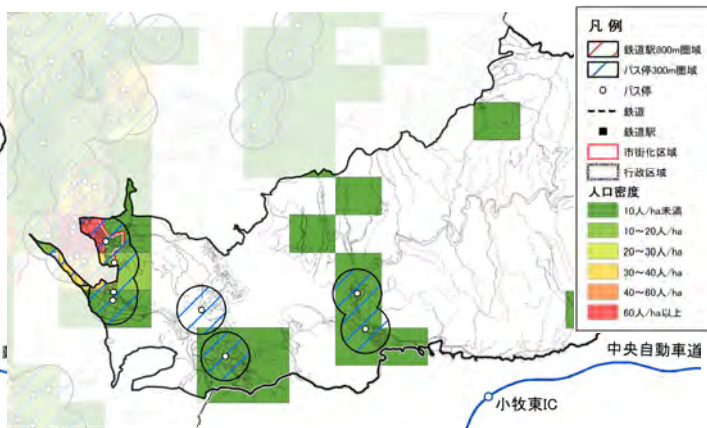
- ・鉄道駅は設置されていません。
- ・バス路線（停留所）の設置状況は、地域西部と入鹿池周辺の集落地はバスの徒歩圏域で概ねカバーされています。

■図 池野地域の鉄道駅・バスルート



(資料：国土数値情報)

■図 池野地域の鉄道駅とバスの圏域

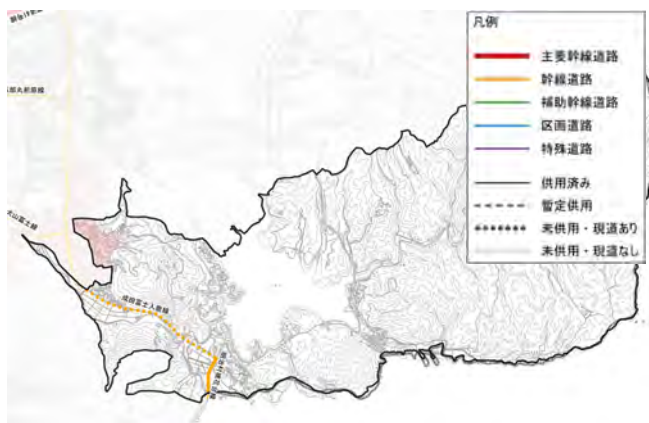


(資料：国土数値情報)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く見られますが、そのほとんどが現道の拡幅となります。
- ・市街化区域においては、ほとんどが公園誘致圏に含まれます。
- ・市街化調整区域においては、都市公園は整備されていません。

■図 池野地域の道路整備状況



(資料：犬山市資料)

■図 池野地域の公園整備状況

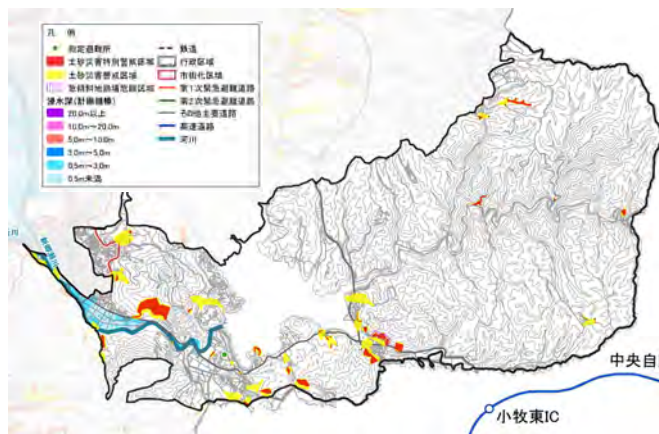


(資料：犬山市資料)

●災害リスク

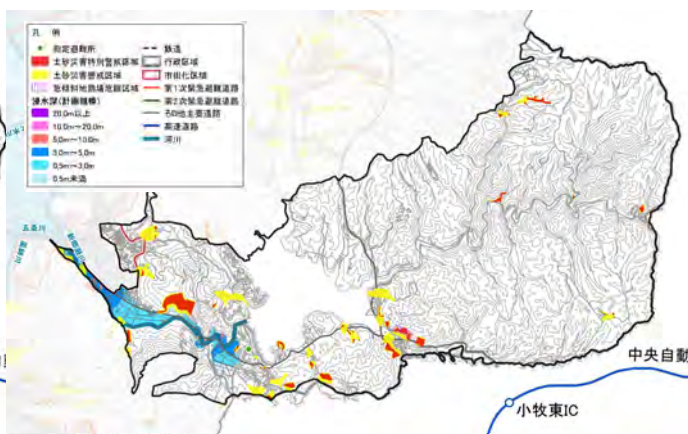
- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域は、入鹿池周辺と地域東部において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模、想定最大規模ともに、地域西部の新郷瀬川沿いで浸水が想定されます。

■図 池野地域のハザードマップ（計画規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

■図 池野地域のハザードマップ（想定最大規模）



(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市資料)

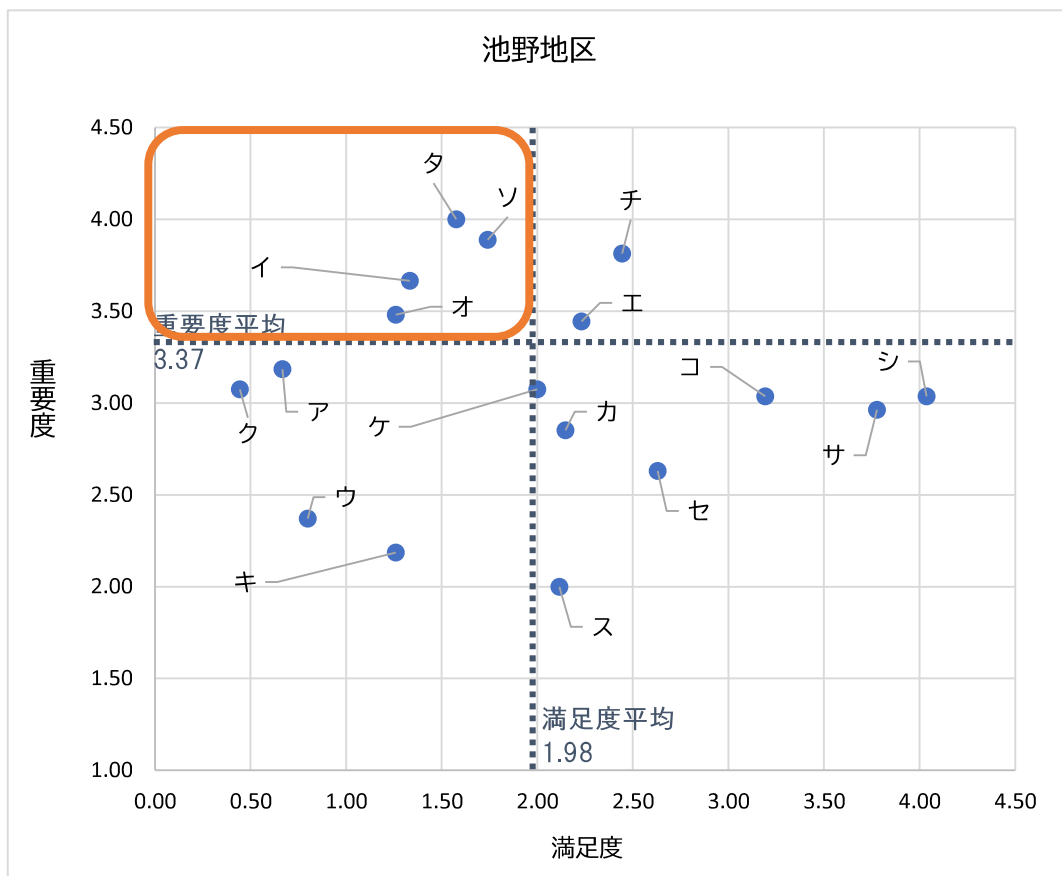
### ③池野地域の住民ニーズ

#### ●市民アンケート

・池野地域における重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目として、下記の4つがあげられます。

- イ：病院など医療・福祉施設が身近にある
- オ：歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい
- ソ：防犯・交通安全への対策が十分されている
- タ：自然災害への対策が十分されている

▼日常の生活環境について（満足度×重要度）池野地区



(令和3年度9月実施 犬山市民アンケートより)

ア 日常の買い物に便利な施設が身近にある	コ 下水道など衛生環境がよく整備されている
イ 病院など医療・福祉施設が身近にある	サ 森林や水辺など身近に自然に親しめる場がある
ウ 企業やオフィスなど働く場所が身近にある	シ 山なみや田園風景など美しい自然景観がある
工 道路が整備され、車で移動しやすい	ス 建物、植栽などが整った美しい街なみがある
オ 歩道が整備され、歩行者が安全に歩きやすい	セ 歴史的なまちなみ、文化財など歴史的資源がある
カ 身近な公園や緑地など憩いの場がある	ソ 防犯・交通安全への対策が十分されている
キ スポーツ、遊戯など余暇に利用できる施設がある	タ 自然災害への対策が十分されている
ク 鉄道駅へのアクセスが良く利用しやすい	チ 総合的に見た、お住いのまわりの暮らしやすさ
ケ コミュニティバスなど路線バスが充実している	



## ●地区別タウンミーティング

- ・令和3年度に開催された地区別タウンミーティングでは、次のような地域住民の方々のご意見をいただきました。

## 池野地区☆2031 未来物語 10年後、なったらいいね！こんなまち

### 池野地区

- ・入鹿池周辺を整備（駐車場、トイレ）
- ・空家がないまち
- ・市街化調整区域で家を建てられるようにする
- ・コミュニティバスとデマンド交通を組み合わせる
- ・自由に使える駐車場を整備する
- ・移動手段が確保されたまち
- ・小学校までの通学路を確保する
- ・増便等による交通利便性の向上
- ・タクシーの相乗り、タクシーチケットの増刷り等による移動支援の充実
- ・道路拡幅、ミラー設置等道路環境の整備
- ・自然を生かした公園づくり
- ・花のあるまち
- ・ウォーキングコース・ハイキングロード等の整備

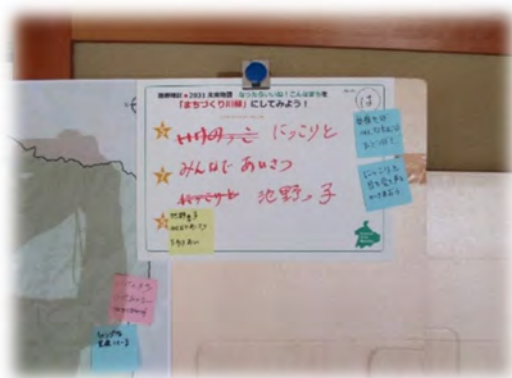
### 犬山市全体

- ・利便性のよいまち
- ・犬山城が世界遺産になり、観光客がにぎわうまち
- ・道の駅があるまち
- ・子ども、高齢者にやさしいまち
- ・住民へのサービスが充実するまち
- ・道路環境などが良く整備されているまち
- ・空き家が再利用されるまち



### 自らできること

- ・あいさつをする
- ・近所との声掛け、助け合ったりすることで、近所づきあいをよくする
- ・入鹿池周りの掃除や施設の草刈りなどをする



## ②池野地域の主要課題

### ●土地利用の視点

#### <地域の生活利便性の維持・充実>

- ・コミュニティ拠点に位置づけた池野小学校周辺は、日常生活に必要な機能や市街地との生活交通の確保を図り、二地域居住や多自然居住など新たな住まい方の受け皿になるなど、地域コミュニティの維持・充実を図ることが必要です。

#### <東部の丘陵地にある森林と優良な農地の保全、活用>

- ・飛騨木曾川国定公園の森林や里山やまとまりのある農用地は、無秩序な土地利用を抑制し、保全に努めるとともに、自然環境や農にふれあう機会の創出が必要です。

### ●交通の視点

#### <集落地や住宅団地における生活交通の確保>

- ・中山間部の集落地や住宅団地において交通弱者の日常生活を維持するため、コミュニティバスやデマンド交通など地域の実情に応じた輸送手段の確保が必要です。

#### <安全・安心な生活道路の確保>

- ・交通事故の危険箇所や通行上支障のある狭い道路などの解消等により、子どもから高齢者、障がいのある人が安全に、安心して通行できる生活道路や歩行空間の確保が必要です。

### ●市街地整備等の視点

#### <市街化調整区域の住宅団地や集落地の居住環境の維持・充実>

- ・集落地における基盤施設の維持・改善や空き家の発生を抑制するなど居住環境の維持・向上を図ることが必要です。

### ●都市環境の視点

#### <里山や水辺など豊かな自然環境の保全、活用>

- ・里山や入鹿池といった水辺など地域の豊かな自然環境を保全しながら、自然体験やアウトドア、憩いの場の創出など自然に親しめる空間として活用することが必要です。

#### <歴史的風致の維持・向上>

- ・尾張富士や入鹿池等は地域固有の歴史・文化資源であり、周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。

#### <老朽化する公共施設への対応>

- ・老朽化が進行する公共施設については、公共施設再編の方向性と整合しながら、施設の建替えや移転、長寿命化等の対応が必要です。

## ●都市防災の視点

### <災害に強い地域づくりの実現>

- ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

#### ④池野地域のまちづくり方針

##### ●地域のまちづくり目標

- ・都市づくりの基本理念に加え、地域の現状や主要課題を踏まえた「地域のまちづくり目標」を以下のとおり設定します。

<池野地域のまちづくり目標>

訪れて楽しい多様な地域資源を活かした憩いと交流があるまち

##### ●地域の分野別まちづくり方針

- ・本地域のまちづくり目標の実現に向けて、全体構想での位置づけや地域の主要課題を踏まえたまちづくり方針を以下のとおり設定します。なお、ここで記載される方針以外は、全体構想の方針に従います。

分野	まちづくり方針
拠点形成 土地利用	<p>【コミュニティ拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活を送る上で必要な機能の確保と市街地を結ぶ生活交通の確保・充実</li> <li>○集落・コミュニティの維持に向けた住宅の立地緩和の検討</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施</li> <li>○県道多治見犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）</li> <li>○幅員4メートル未満の狭あい道路の解消など生活道路の改善</li> <li>○コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実</li> </ul>
市街地 整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進</li> <li>○空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進</li> </ul>
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域内の河川沿いの遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成</li> <li>○森林・里山での保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう機会の提供</li> <li>○入鹿池など自然・観光資源を活かした交流の創出</li> <li>○新郷瀬川改修の促進（県への働きかけ）</li> <li>○入鹿神尾地区浄化センターをはじめ農業集落排水処理施設の適切な維持管理</li> <li>○ヒトツバタゴ自生地の保全、活用</li> <li>○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用</li> <li>○個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討</li> <li>○地域特性を意識した景観づくりの推進</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全</li> <li>○洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強</li> </ul>

# ●池野地域のまちづくり方針図

## 【地域全体】

- 東部の丘陵地にある森林やまとまりのある農用地における無秩序な土地利用の抑制
- 交通事故の危険箇所や地元要望、通学路交通安全プログラムによる交通安全対策の実施
- 幅員4メートル未満の狭い道路の解消など生活道路の改善
- コミュニティバス等の地域公共交通の維持・充実
- 県や関係者と協力した民間木造住宅の耐震改修を促進
- 空き家の適正管理や既存ストックに関する各種制度の活用を促進
- 個別施設計画に基づく公共施設の建替え、移転又は長寿命化等の検討
- 地域特性を意識した景観づくりの推進
- 洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等の適切な保全
- 洪水や土砂災害の危険性が高い区域における警戒避難態勢の強化

○周辺環境と一体となった歴史的風致の維持・保全、活用

○新郷瀬川改修の促進（県への働きかけ）

## 【コミュニティ拠点（池野小学校周辺）】

- 日常生活を送る上で必要な機能の確保と市街地を結ぶ生活交通の確保・充実

○ヒトツバタゴ自生地の保全、活用

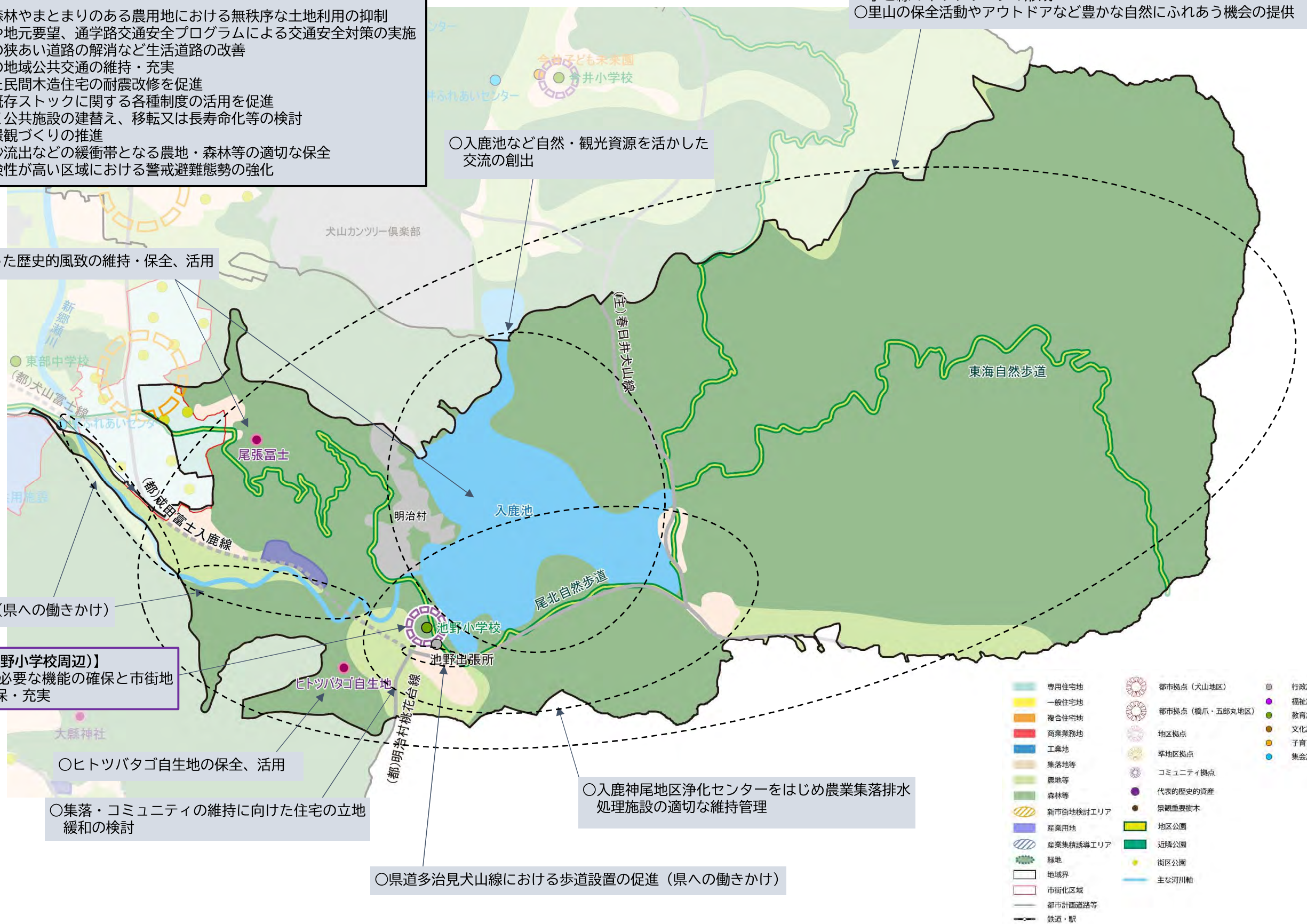
○集落・コミュニティの維持に向けた住宅の立地緩和の検討

○入鹿池など自然・観光資源を活かした交流の創出

○地域内の河川沿いの遊歩道、自然歩道を活用した歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークの形成  
○里山の保全活動やアウトドアなど豊かな自然にふれあう機会の提供

○入鹿神尾地区浄化センターをはじめ農業集落排水処理施設の適切な維持管理

○県道多治見犬山線における歩道設置の促進（県への働きかけ）



(案)

都市計画マスタープランの実現に向けて

## 第8章 実現化方策

### 1 都市づくりの目標達成に向けた取組み

#### 1) 多様な主体による都市づくりの推進

都市計画マスタープランは、土地利用や交通体系、都市基盤整備など住民に身近なまちづくりに関する指針となるものです。本計画の推進あたっては、市民と行政、NPOやコミュニティ活動団体、ボランティア組織をはじめとする各種団体、企業などの民間事業者との協働、これら多様な主体との総動によって都市づくりの実効性を高めることが重要です。この取組みは、以下のような基本的な考え方により効率的かつ効果的な実践に努めます。

##### ①情報の共有化

- ・多様な主体による都市づくりの推進に取り組むため、広報誌やホームページ、SNSの活用のほか、パンフレットや事業を案内するチラシ、かわらばんなど多様な媒体を活用し、都市づくりに関する情報などを市民にわかりやすく発信し、まちづくりに関する情報を共有します。

##### ②市民参加の推進

- ・各種計画づくりへの参加機会の拡充を図るとともに、各種活動団体等のまちづくりに関する活動を支援していきます。

##### ③都市計画制度の適切な運用

- ・本計画で定めた都市づくりの方針に基づき、区域区分や用途地域等、土地利用に関する都市計画制度の適正な運用を図ります。
- ・必要に応じて都市計画の決定や見直しなどを行うとともに、都市計画事業の推進や各種補助事業・制度の活用等により都市基盤の整備を進めます。

##### ④民間活力を活かしたまちづくりの実践

- ・民間事業者等の活力やノウハウの活用を図ることで、効率的で効果的なまちづくりの可能性を広げ、道路や公園、河川などの公共空間における魅力的な空間形成の検討など、民間活力を活かしたまちづくりの実践を推進します。

##### ⑤関係機関との連携によるまちづくり推進体制の構築

- ・都市計画事業等の事業化や事業の円滑な推進のため、国や県、周辺自治体やその他機関と調整・協力体制の充実を図るとともに、専門家やアドバイザーといった人的ネットワーク、プラットフォームの活用により技術的なサポート体制の構築に努めます。

#### 2) 都市計画マスタープランの見直し

第6次犬山市総合計画をはじめ本計画の上位計画に大きな変更が生じた場合や今後の社会経済情勢の変化等により新たな課題や市民ニーズへの対応が必要となった場合は、必要に応じて本計画を適切に見直します。

## 2 計画の進捗管理

---

※総合計画の評価（進捗管理）の内容を踏まえて検討します。